

めぶきフィナンシャルグループ

平成29年度中間期 決算説明資料



このページは「空白」です。

目 次

業績ハイライト 3

1. 平成29年度中間期 決算概要

◇ 決算の概要	4
◇ コア業務粗利益	5
◇ 資金利益、預貸金利回り	6
◇ 貸出金(1)～(5)	7-11
◇ 預金	12
◇ 預り資産	13
◇ 法人等の役務取引	14
◇ 有価証券運用(1)(2)	15-16
◇ 政策保有株式	17
◇ 経費・OHR	18
◇ 信用コスト・開示債権	19
◇ グループ会社の状況	20

2. 平成29年度 業績見通し

◇ 平成29年度業績見通し(1)(2)	21-22
◇ 自己資本比率・株主還元	24

3. 統合シナジー・営業施策等

◇ 統合シナジーの進捗	25
◇ めぶきリース・めぶき証券	26
◇ 営業施策(法人)	27-28
◇ 営業施策(個人)	30
◇ システム統合・経費削減	31
◇ 店舗ネットワーク・店舗効率化	32
◇ IT施策、事務の効率化	33-34

4. その他

◇ 地方創生に向けた取組み	35-37
◇ ESGの取組み	38-39

業績ハイライト

29年度中間期実績（P4）

めぶきFG連結中間純利益*は249億円（通期業績予想に対する進捗率 62.3%） * 親会社株主に帰属する中間純利益

2行合算の中間純利益は、コア業務純益が計画を上回ったほか、株価水準等を踏まえ政策保有株式等の売却を先行させたことにより、通期業績予想に対する進捗率は64.7%と高進捗。

経営統合シナジーは、29年度計画27億円に対し、中間期は21億円（進捗率78.9%）と順調に推移。（P25参照）

29年度業績見通し（P21）

29年度業績見通しは、当初公表（29年5月12日）から変更なし。

連結経常利益585億円、連結純利益*400億円を計画。

＜常陽銀行＞ 単体純利益230億円（前年度比△14億円） ＜足利銀行＞ 単体純利益210億円（同△54億円） * 親会社株主に帰属する当期純利益

配当（P24）

29年度は、配当政策*を踏まえ、年間11円（中間5.5円、期末5.5円）を予定。

* めぶきFG配当政策：グループとしての成長に向けた資本の確保と、株主さまへの適切な利益還元バランスを考慮し、安定配当を目指す。

29年度中間期決算の概要

① ② ③ ④

● めぶきFG連結

(単位:億円)

(ご参考) 2行合算・常陽銀行・足利銀行の実績

(単位:億円)

	29年度 中間期	進捗率	業績 予想 (通期)
経常利益	373	63.8%	585
親会社株主に帰属する ① 当期(中間)純利益	249	62.3%	400
【連結調整】 △56億円 = ②－① 有価証券連単簿価差に伴う調整額 △48億円 劣後ローンの支払利息、経費等 △8億円			

	29年度中間期						業績予想に対する進捗率		
	2行合算		常陽銀行		足利銀行		2行 合算	常陽 銀行	足利 銀行
	実績	前年 同期比	実績	前年 同期比	実績	前年 同期比			
業務粗利益	949	△49	534	△40	415	△9	51.9%	51.6%	52.2%
資金利益	777	+0	434	+4	343	△4	53.0%	52.9%	53.2%
役務取引等利益	155	+11	89	+12	66	△1	49.4%	51.3%	47.1%
その他業務利益他	16	△61	10	△57	5	△3	33.2%	26.8%	59.1%
(うち国債等債券損益)	5	△69	4	△64	0	△4	17.3%	16.1%	－
経費	571	△11	337	△12	234	+0	48.8%	49.6%	47.7%
うち人件費	300	△3	169	△7	130	+3	－	－	－
うち物件費	228	△4	143	△2	85	△2	－	－	－
実質業務純益	378	△38	196	△27	181	△10	57.2%	55.4%	59.3%
コア業務純益	372	+31	192	+37	180	△6	59.1%	59.0%	59.2%
一般貸倒引当金繰入額(a)	1	+24	△3	+6	5	+17	－	－	－
業務純益	376	△62	200	△34	175	△28	56.5%	55.6%	57.6%
臨時損益	43	+57	33	+44	9	+13	－	－	－
うち不良債権処理額(b)	36	△15	21	△3	15	△12	－	－	－
うち株式等関係損益	92	+26	67	+26	24	+0	142.0%	168.4%	99.7%
経常利益	419	△4	233	+10	185	△14	65.5%	69.7%	60.9%
特別損益	△11	△7	△7	△4	△3	△3	－	－	－
中間純利益	284	△7	157	+2	127	△10	64.7%	68.5%	60.5%
信用コスト (a) + (b)	38	+8	17	+3	20	+5	64.1%	50.9%	82.6%

● 2行合算+銀行業以外のグループ会社

	29年度 中間期	進捗率	業績 予想 (通期)
当期(中間)純利益 ②	306	63.7%	480
銀行業以外のグループ会社 中間純利益(合計) 21億円			

コア業務粗利益(国債等債券損益を除く業務粗利益)

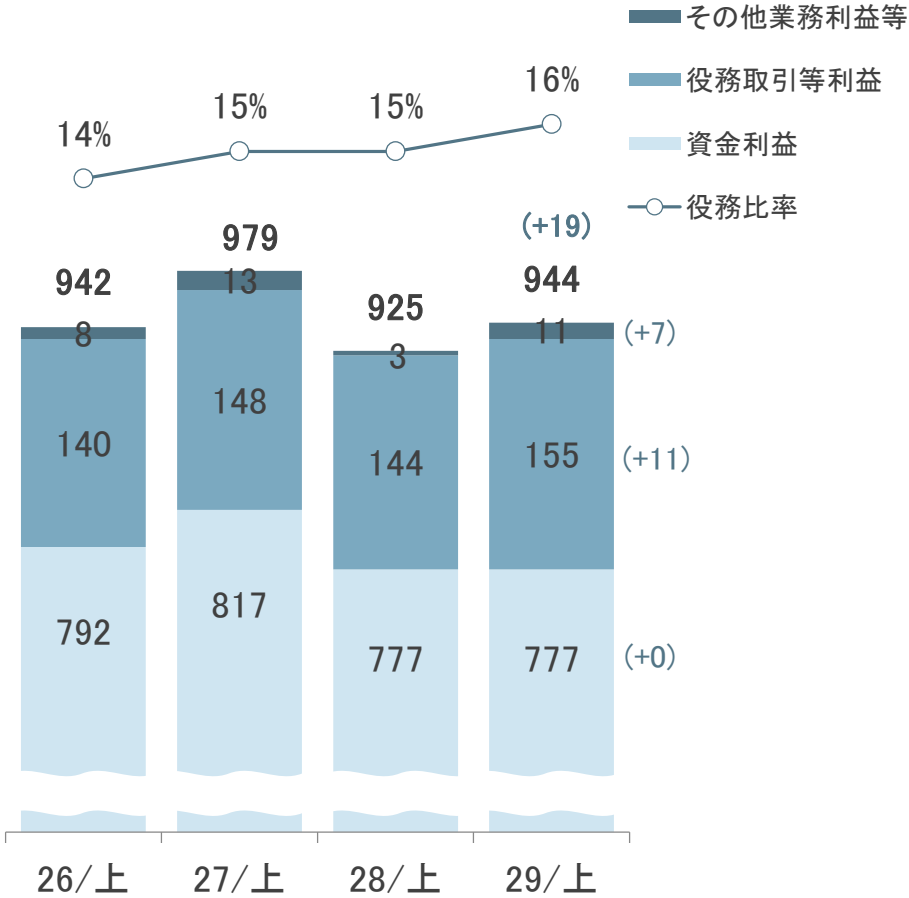
① ② ③ ④

* カッコ内は前年同期比の増減

◇ コア業務粗利益は前年同期比+19億円。コンサルティング営業の強化により法人役務が増加。

2行合算

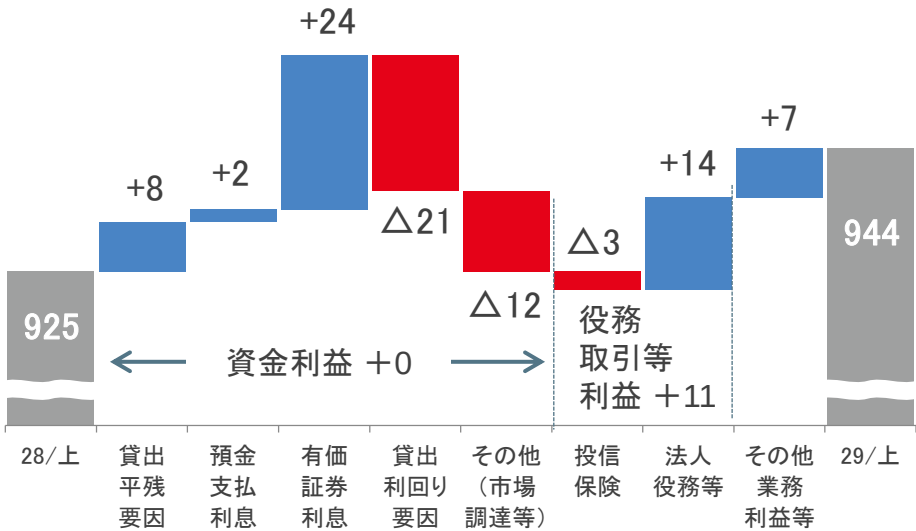
(単位: 億円)



* 役務比率 = 役務取引等利益 / コア業務粗利益

増減要因(2行合算)

(単位: 億円)



(ご参考) 有価証券利息配当金に含まれる私募投信解約益

(単位: 億円)

		27年度	28年度	29年度 上期	前年同期比
常陽	年度	8	17	5	+4
	(うち下期)	(4)	(16)	-	-
足利	年度	37	36	22	△8
	(うち下期)	-	(4)	-	-

資金利益、預貸金利回り(国内＋国際)

① ② ③ ④

資金利益の増減内訳(銀行別)

(単位: 億円)

● 常陽銀行

	要因	前年同期比	(国内)		(国際)	
			平残・利回り	変化	平残・利回り	変化
貸出金利息	平残	+3	+2	(+389億円)	+1	(+231億円)
	利回り	△7	△10	(△3.7bp)	+3	(+61.0bp)
預金支払利息(△)		△0	△1	—	+0	—
有価証券 利息配当金	平残	+1	△0	(△101億円)	+1	(+183億円)
	利回り	+10	+5	(+5.6bp)	+4	(+21.5bp)
市場調達・運用等(△)		+4	△5	—	+10	—

*有価証券利息配当金のうち、私募投信解約益は5(前年同期比+4)

● 足利銀行

	要因	前年同期比	(国内)		(国際)	
			平残・利回り	変化	平残・利回り	変化
貸出金利息	平残	+4	+3	(+649億円)	+0	(+73億円)
	利回り	△14	△14	(△6.9bp)	+0	(+86.8bp)
預金支払利息(△)		△1	△1	—	+0	—
有価証券 利息配当金	平残	+11	+5	(+655億円)	+6	(+514億円)
	利回り	+1	△4	(△7.7bp)	+5	(+58.0bp)
市場調達・運用等(△)		+8	+0	—	+8	—

*有価証券利息配当金のうち、私募投信解約益は22(前年同期比△8)

利回り

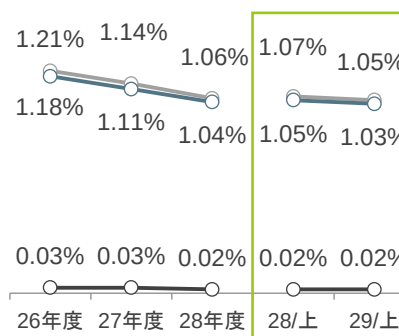
【2行合算】

(国内＋国際)

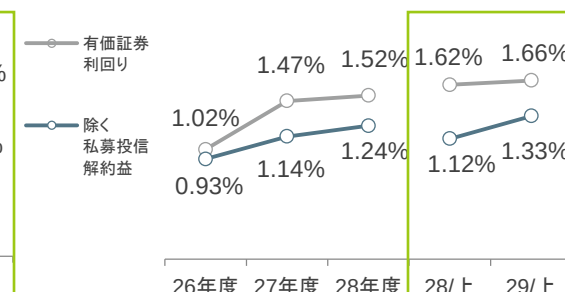
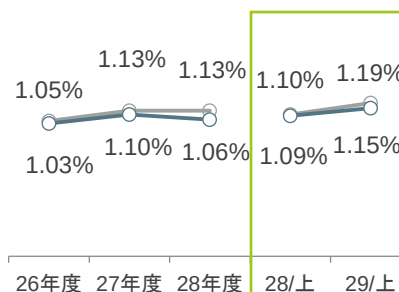
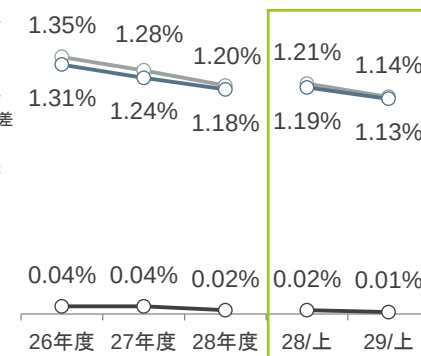
(国内のみ)

	28/上	29/上	前年同期比	28/上	29/上	前年同期比
資金運用利回	1.13%	1.12%	△0.01%	1.07%	1.04%	△0.03%
うち貸出金利回	1.13%	1.09%	△0.04%	1.13%	1.08%	△0.05%
うち有価証券利回	1.27%	1.36%	+0.09%	1.18%	1.19%	+0.01%
預金等利回	0.02%	0.02%	0.00%	0.01%	0.01%	0.00%

● 常陽銀行



● 足利銀行



貸出金(1) 人格別末残

① ② ③ ④

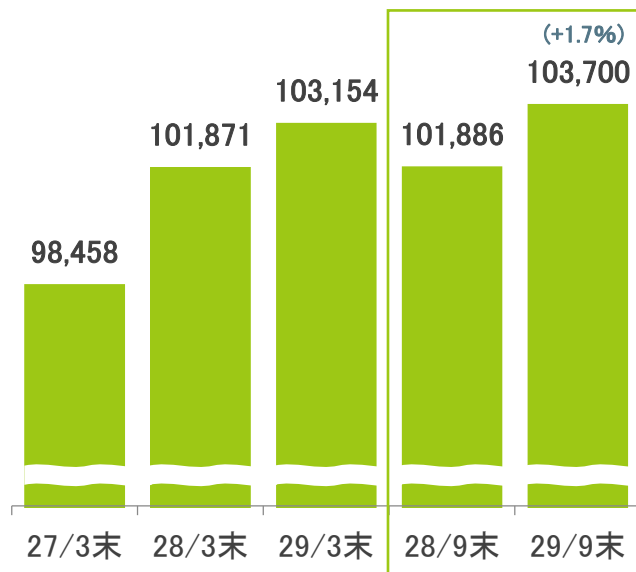
* カッコ内は前年同期末比の増減率

◇ 個人貸出金は、前年同期末比+2,382億円(年率+5.7%)。住宅関連ローンは同+2,302億円。(P9参照)

◇ 法人貸出金は、前年同期末比+616億円。地元は同+1,131億円。(P8参照)

● 2行合算

(単位:億円)



* 個人事業主は「個人」に含む。金融は「法人」に含む。

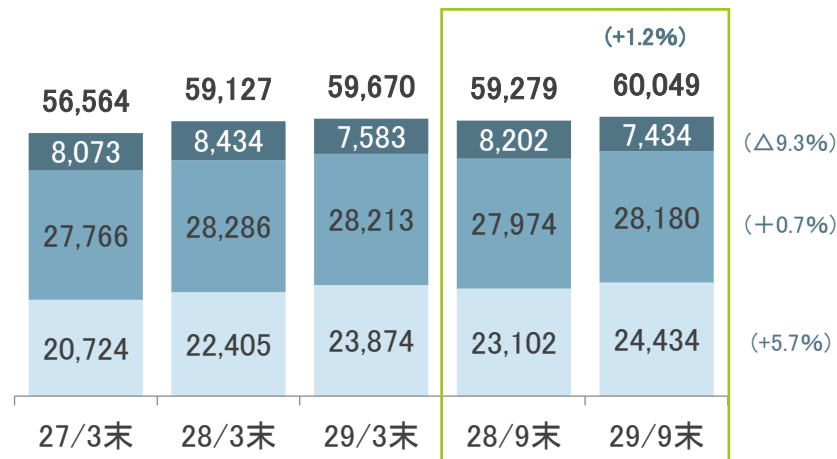
2行合算

	27/3末	28/3末	29/3末	28/9末	29/9末	
個人	37,462	40,256	42,728	41,433	43,816	(+5.7%)
法人	47,722	48,131	48,096	47,738	48,355	(+1.2%)
公共	13,273	13,483	12,329	12,714	11,529	(△9.3%)
合計	98,458	101,871	103,154	101,886	103,700	(+1.7%)

外貨貸出金

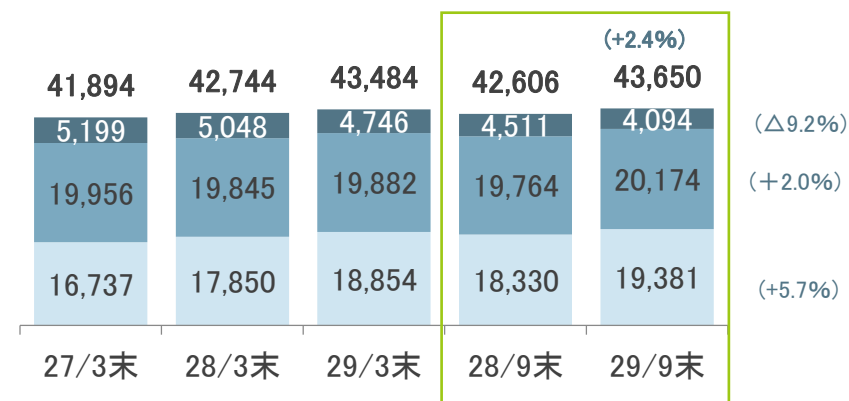
常陽銀行	863	988	1,160	906	1,089
足利銀行	55	57	122	41	149

● 常陽銀行



■ 公共
■ 法人
■ 個人

● 足利銀行



貸出金(2)法人向け(地域別／企業規模別)

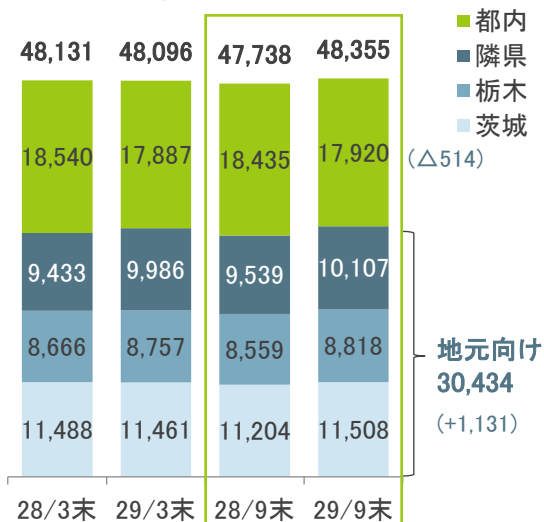
① ② ③ ④

* カッコ内は前年同期末比の増減

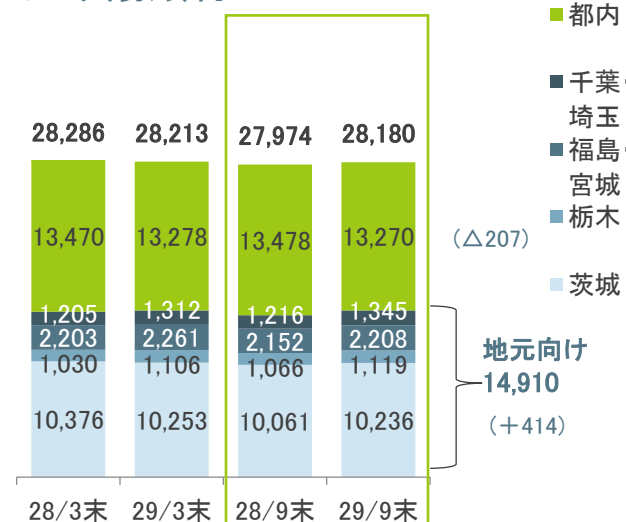
地域別末残

2行合算

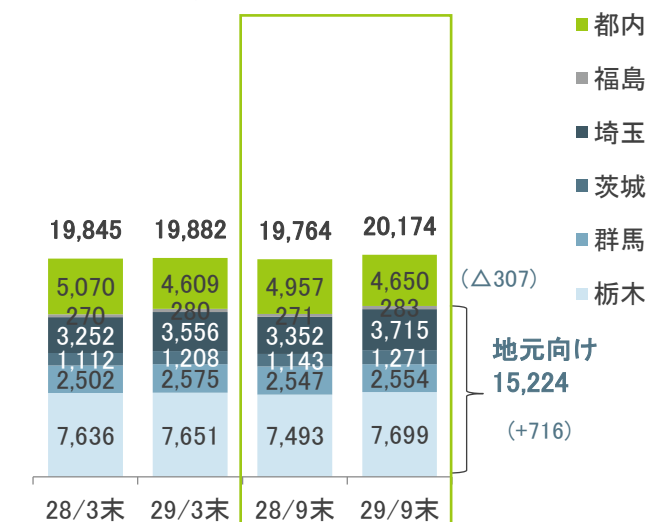
(単位: 億円)



常陽銀行



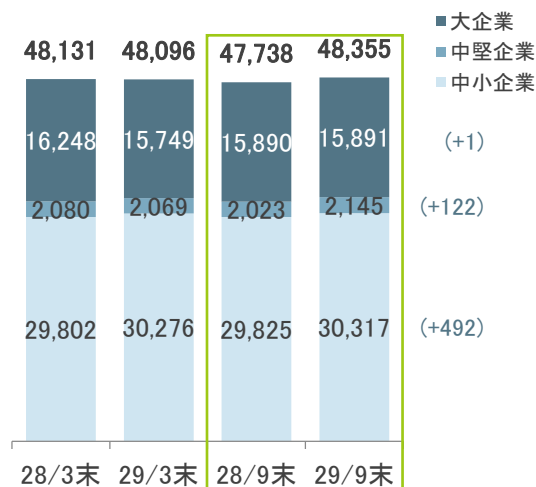
足利銀行



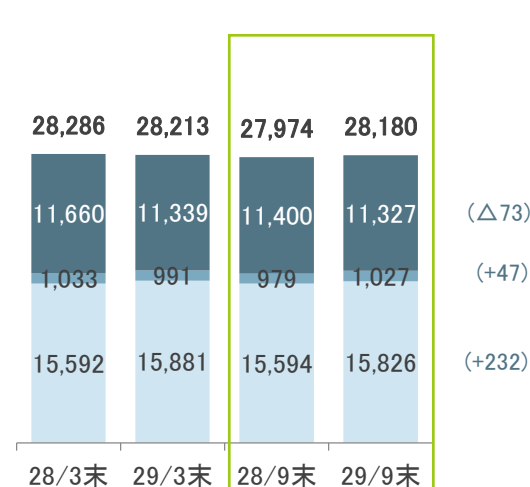
企業規模別末残

2行合算

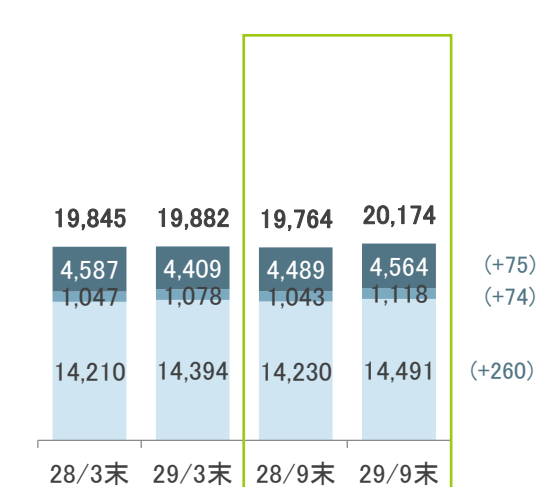
(単位: 億円)



常陽銀行



足利銀行



貸出金(3)住宅関連ローン

① ② ③ ④

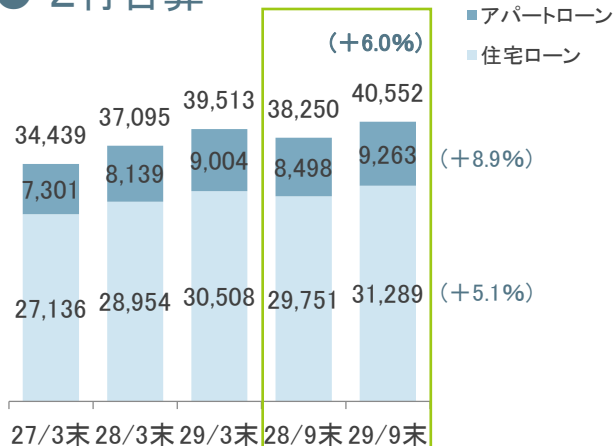
* カッコ内は前年同期末比の増減率

末残

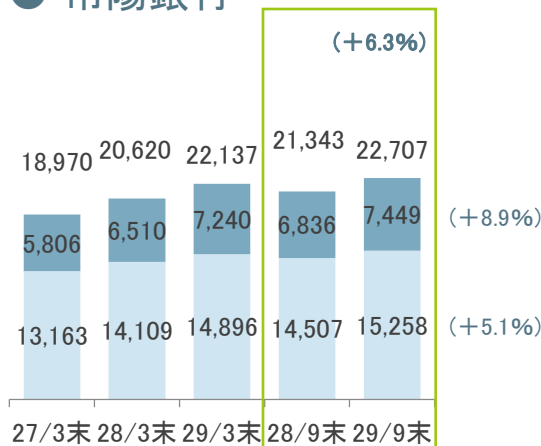
(単位:億円)

* アパートローンは法人向けを含む

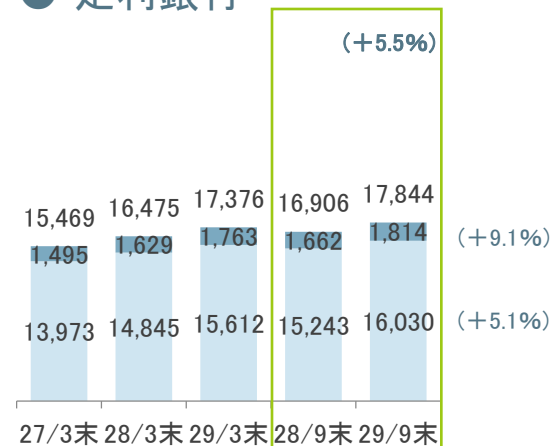
● 2行合算



● 常陽銀行



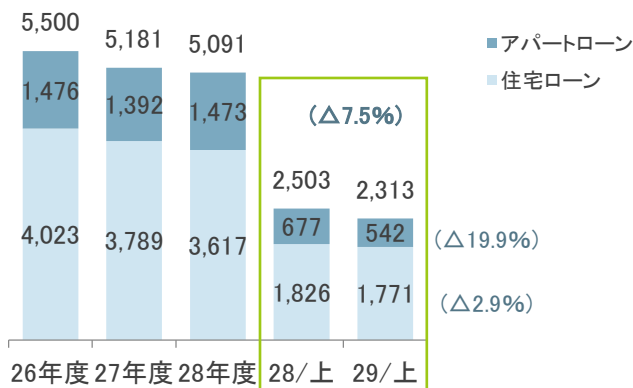
● 足利銀行



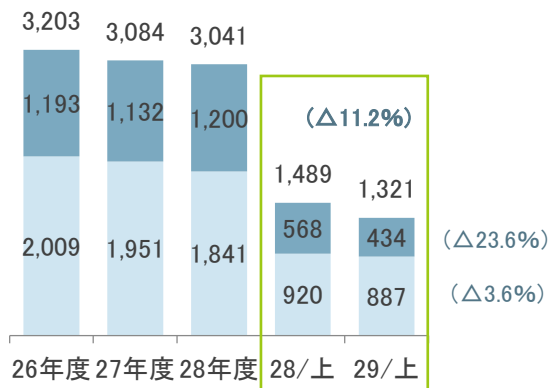
獲得額

(単位:億円)

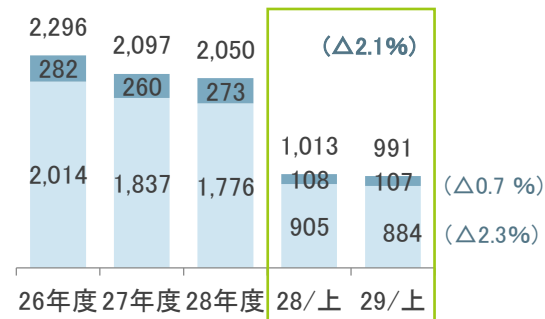
● 2行合算



● 常陽銀行



● 足利銀行

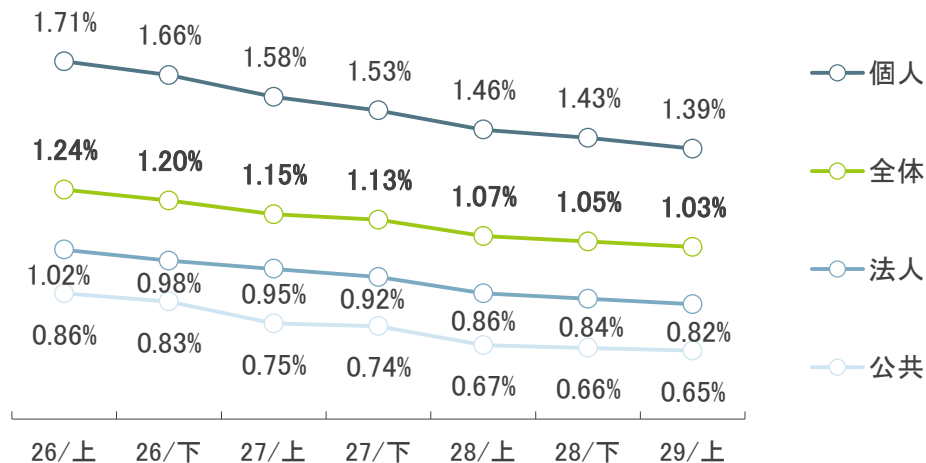


貸出金(4) 利回り

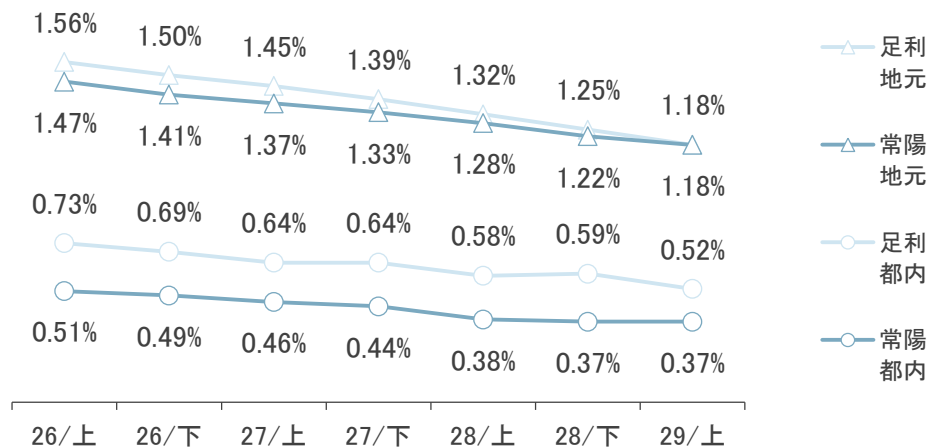
① ② ③ ④

* 人格別利回りは管理ベース

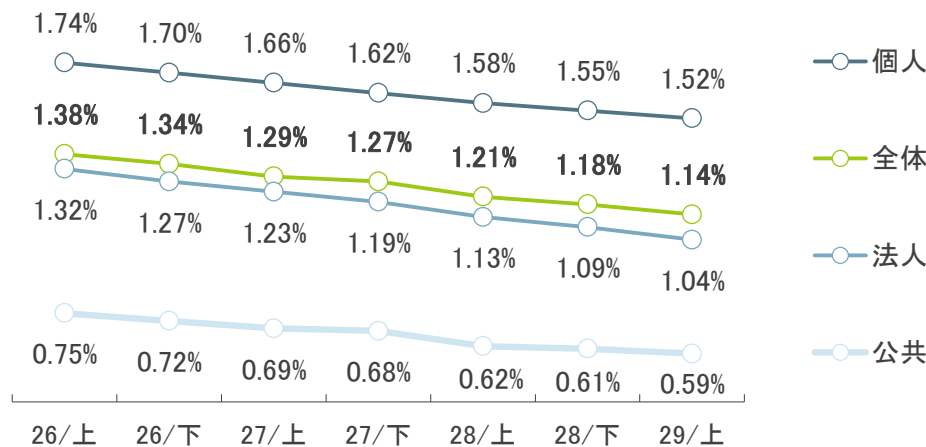
人格別(国内) 常陽銀行



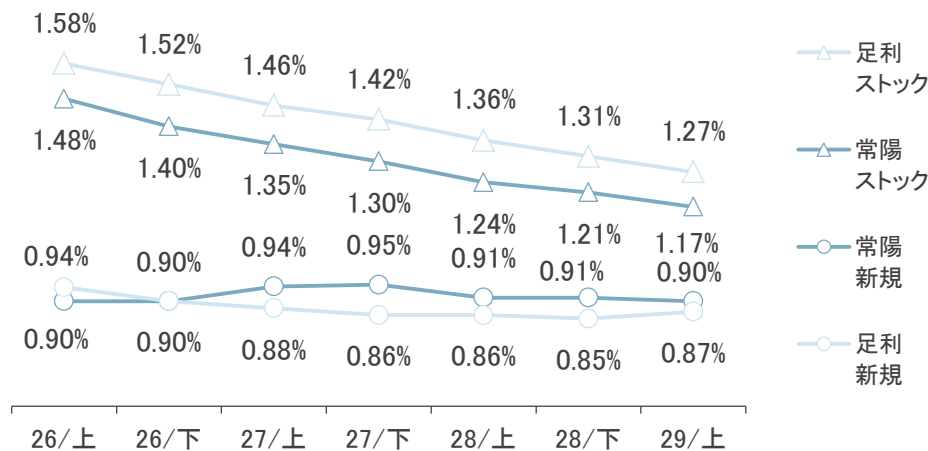
法人貸出金(地域別)



人格別(国内) 足利銀行



住宅ローン



貸出金(5)無担保ローン

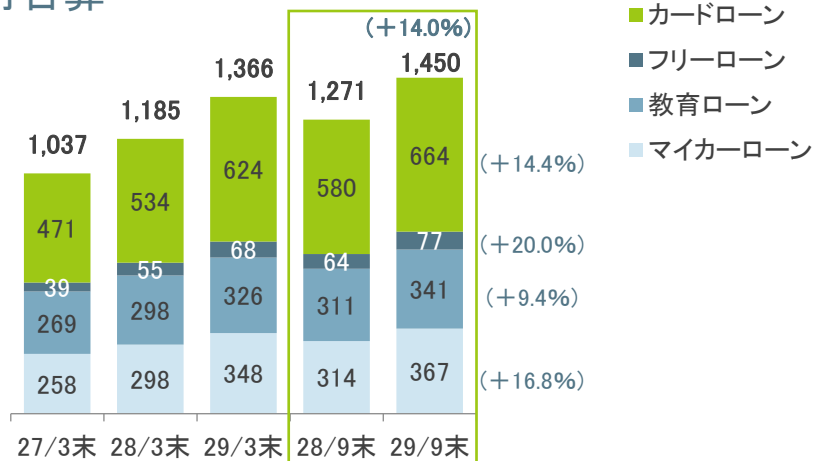
① ② ③ ④

* カッコ内は前年同期末比の増減率

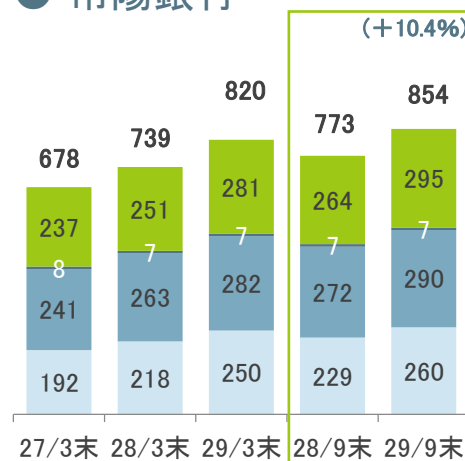
末残

(単位: 億円)

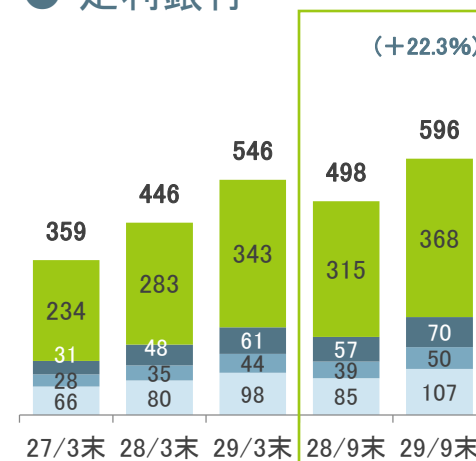
● 2行合算



● 常陽銀行



● 足利銀行



カードローン（全銀協申し合わせへの対応）

お客様の利便性と顧客保護の両面に配慮し適切に対応

時期	対応
29年4月～	広告、宣伝の抑制
29年7月～	外部保証付のカードローンの申込極度額50万円超について、収入証明資料を徴求
	債務比率を2分の1に設定

施策展開

具体的な施策展開

マイカーローン

金利割引施策の展開(29年9月～30年4月)

広告(インターネット、自動車教習所でのディスプレイ広告【常陽】等)強化
ホームページ仮審査入力補助ツールの導入【足利】

教育ローン

金利割引施策の展開(29年9月～30年4月)

学校等の提携先に対するPR強化、提携先の拡大【常陽】

フリーローン

ウェブ完結スキームの導入【足利】

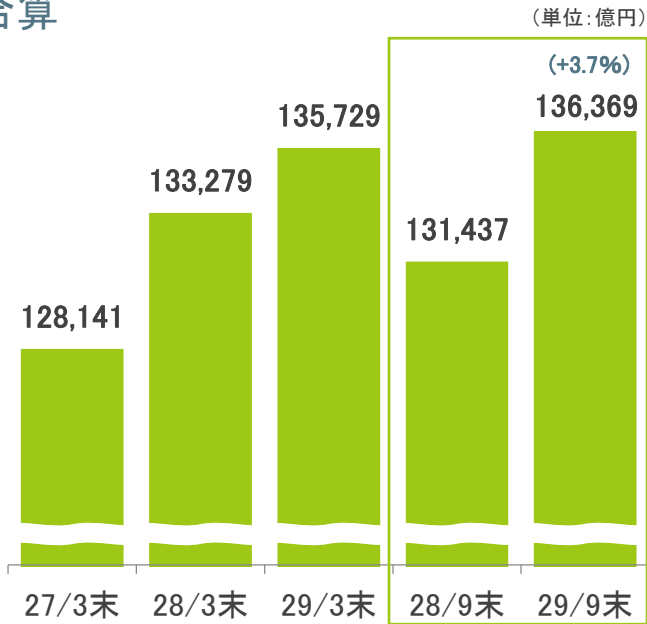
預金 人格別末残

① ② ③ ④

* カッコ内は前年同期末比の増減率

◇ 個人・法人預金は、増加基調を継続（個人：年率＋3.5%、法人：年率＋4.2%）

● 2行合算



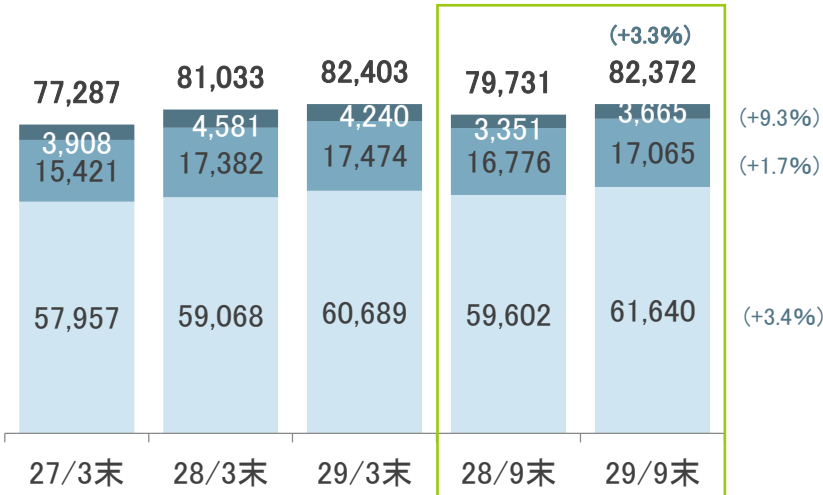
* 1 金融は「法人」に含む。 * 2 外貨預金には、為替予約付外貨預金、オフショア預金等を含む。

	27/3末	28/3末	29/3末	28/9末	29/9末	
個人	93,442	95,026	97,621	95,767	99,148	(+3.5%)
法人	27,419	30,208	30,628	30,054	31,318	(+4.2%)
公共	7,278	8,044	7,480	5,615	5,901	(+5.0%)
合計	128,141	133,279	135,729	131,437	136,369	(+3.7%)

外貨預金

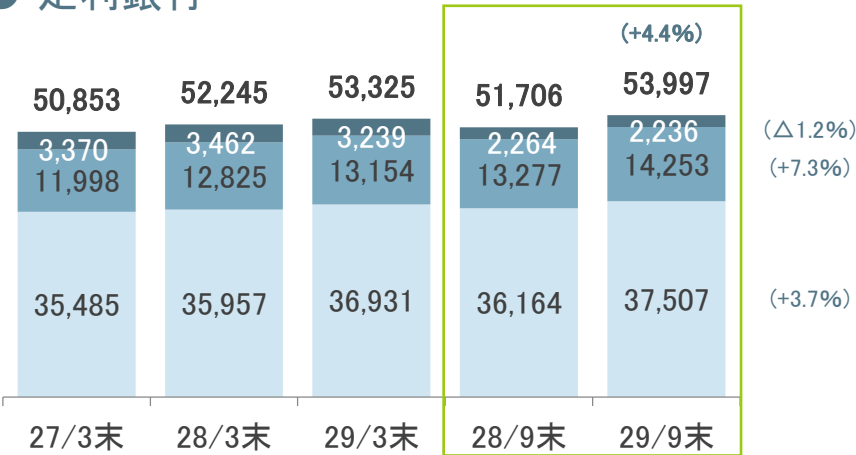
	27/3末	28/3末	29/3末	28/9末	29/9末
常陽銀行	546	1,114	1,407	1,525	1,623
足利銀行	164	163	248	214	642
合計	711	1,277	1,656	1,740	2,265

● 常陽銀行



■ 公共
■ 法人
■ 個人

● 足利銀行



預り資産 残高・手数料

① ② ③ ④

* 外貨預金は、為替予約付外貨預金、オフショア預金
FG発行のドル建てCB見合い分を除く。

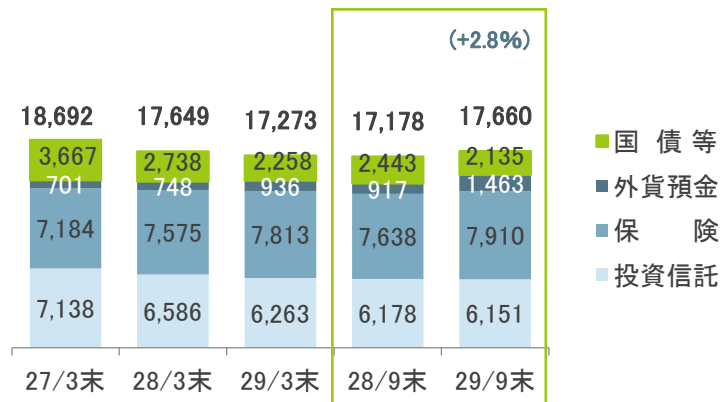
◇ 預り資産の残高は外貨預金の増加を主因に前年同期末比+2.8%。手数料は保険の減収を主因に減少。

◇ 子銀行とめぶき証券の連携強化・シナジー発現により、金融商品仲介の獲得手数料は順調に増加。

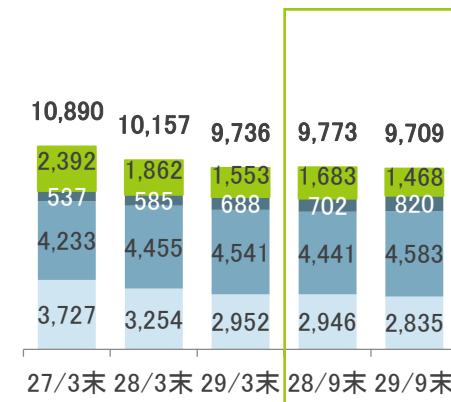
預り資産残高

● 2行合算

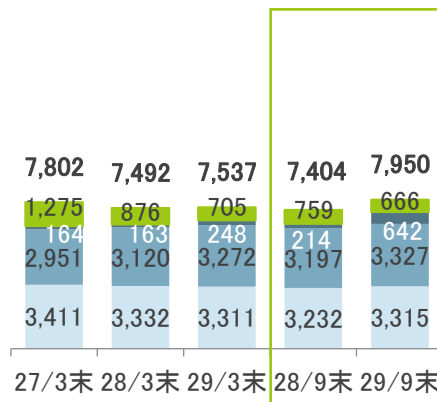
(単位: 億円)



● 常陽銀行



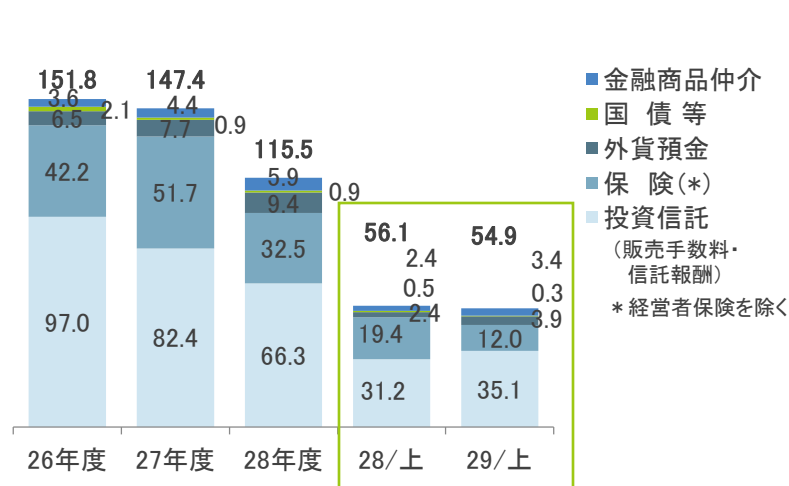
● 足利銀行



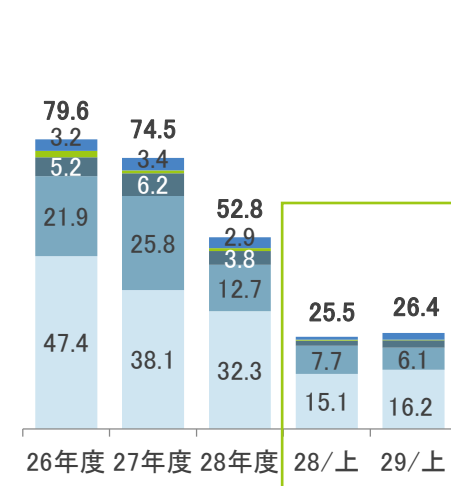
手数料

● 2行合算

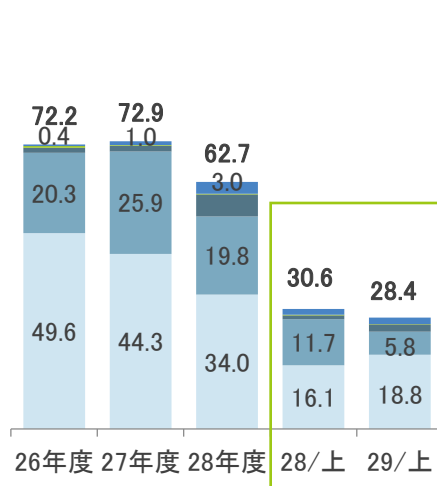
(単位: 億円)



● 常陽銀行

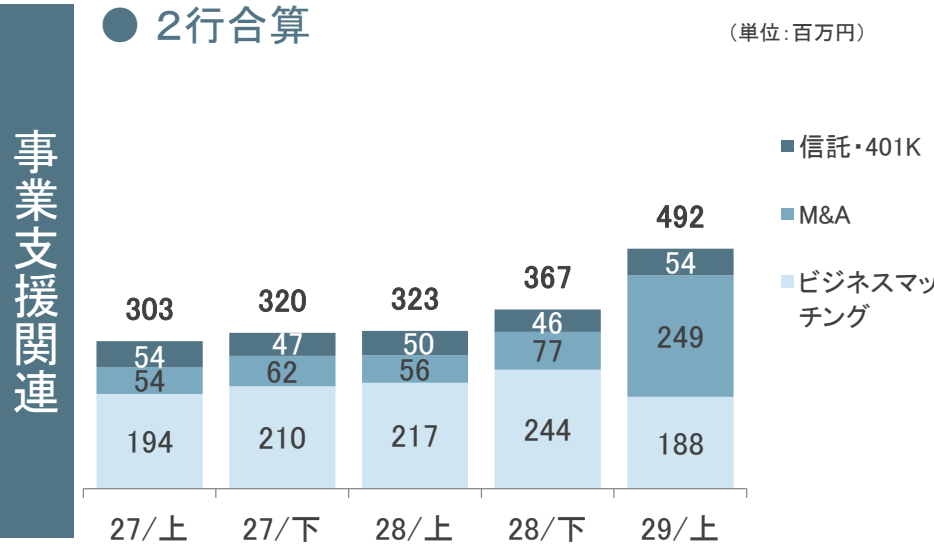
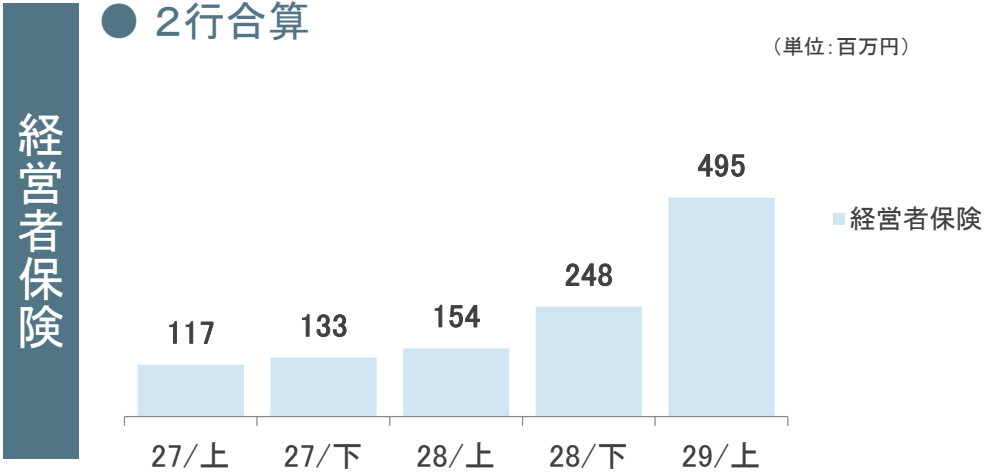
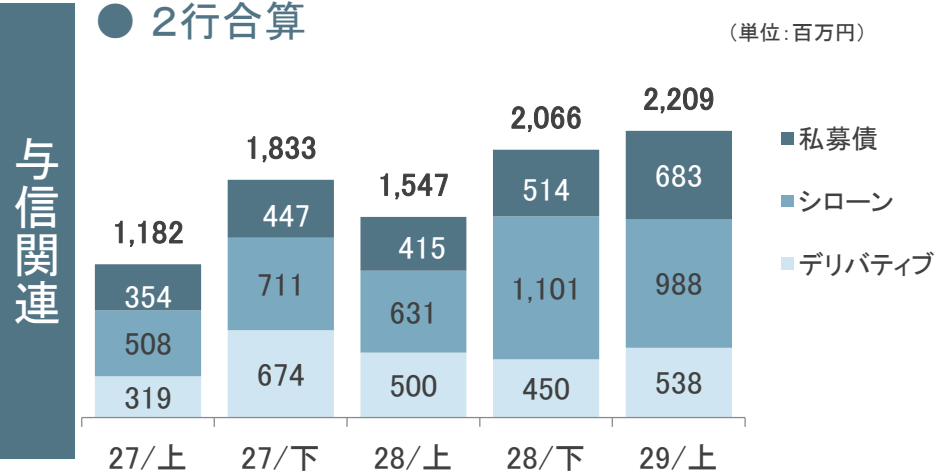


● 足利銀行



法人等の役務取引

- ◇ コンサルティング営業の展開強化により、シ・ローン、私募債、経営者保険等の法人役務が増加。
- ◇ 事業性評価等を通し、幅広く法人ソリューションを提案するとともに、新規手数料も設定。



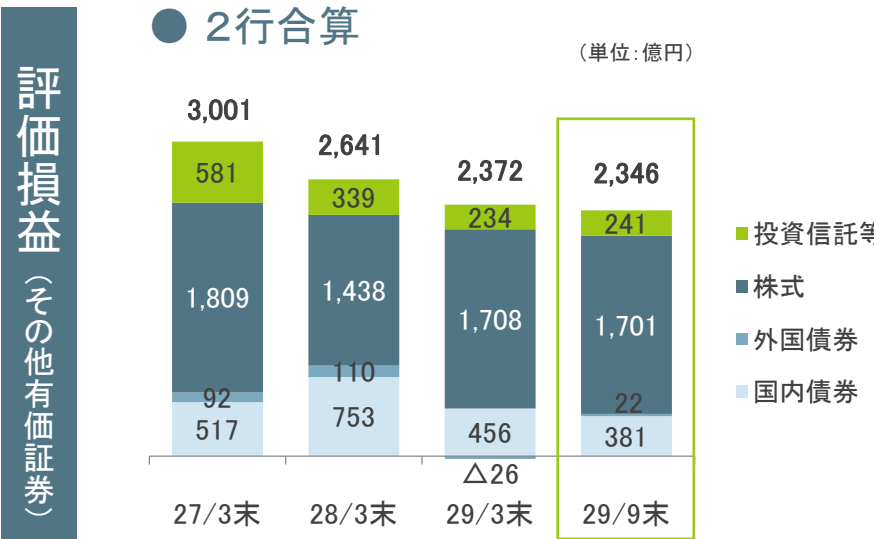
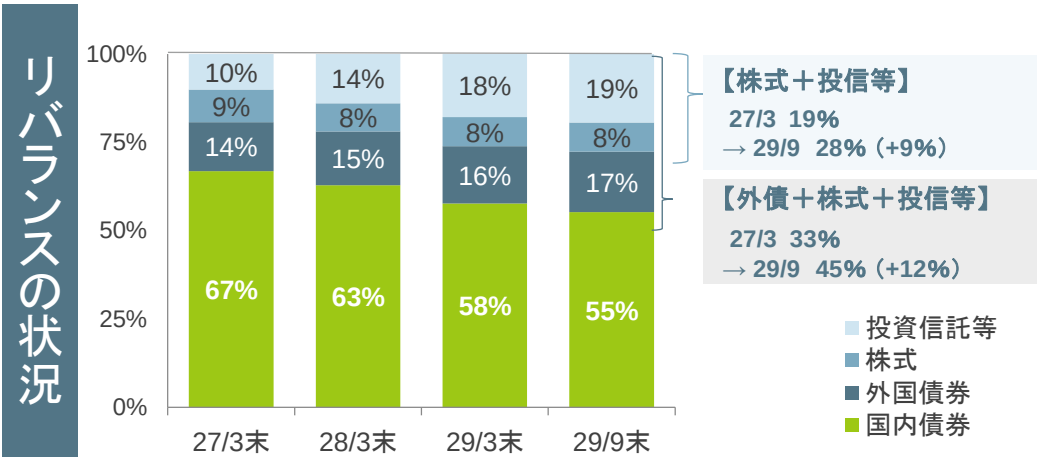
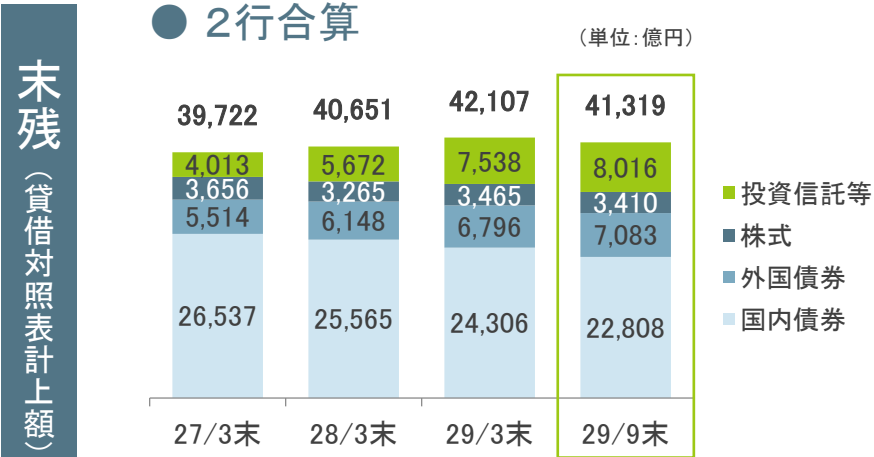
新規設定手数料

項目	概要
事業性融資関連手数料	ABL取扱手数料、短期継続サポートローン 等
コベナンツ付融資手数料	29/下より本格展開
住宅ローン取扱い手数料	めぶきde借換(ネット申込)の手数料
手数料収入 合計 (2行合算)	29年度上期 4億円強

有価証券運用(1)

① ② ③ ④

- ◇ 現状の円金利水準等を踏まえ、国債償還分の再投資を抑制(国内債券残高 29年3月末比△1,497億円)。
- ◇ リスク管理に留意し、投資信託や外国債券等へのポートフォリオ・リバランスを継続。



売買損益(29上)

(単位: 億円)

		売却益	売却損	合計	
常陽	国債等 債券損益	国内	9	△4	4 国債等
		外国	8	△8	△0 外国国債等
	株式等 関係損益	—	70	△3	67 政策保有株式、ETF
足利	国債等 債券損益	国内	0	△0	△0 地方債等
		外国	0	-	0 外国国債等
	株式等 関係損益	—	26	△1	24 政策保有株式、投信

* 私募投信解約益 5億円

* 私募投信解約益 22億円

有価証券運用(2) 金利リスク、リバランス

① ② ③ ④

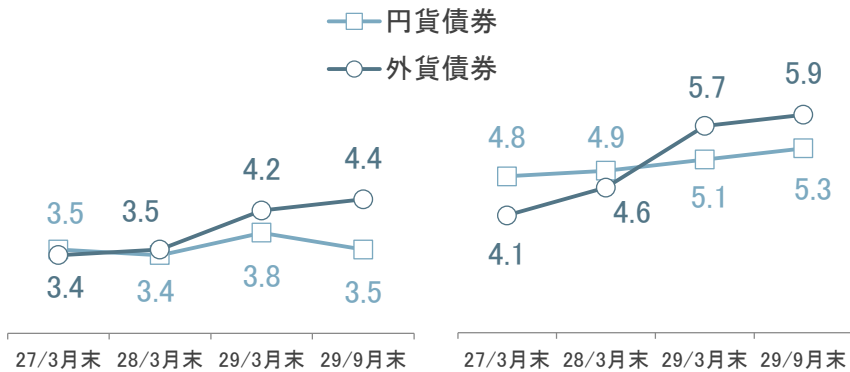
◇ 外国債券は、国債・政府保証債等を中心とした運用。ファンドは、日本株・外債等を中心とした運用。

デュレーション

● 常陽銀行

● 足利銀行

(単位:年)

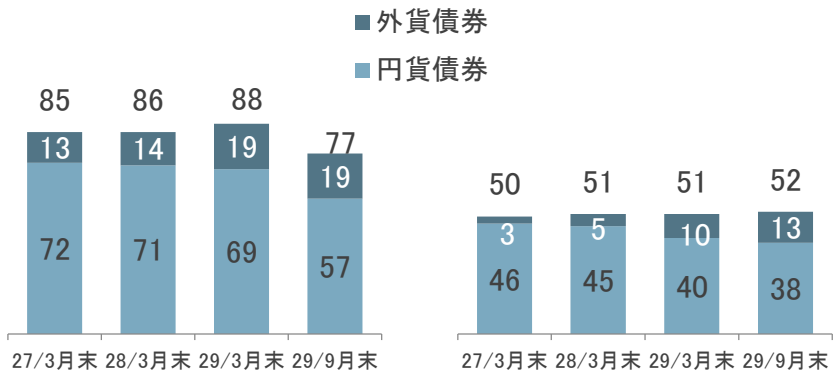


金利リスク量 (10BPV)

● 常陽銀行

● 足利銀行

(単位:億円)



● 2行合算(29年9月末)

		2行合算	常陽銀行	足利銀行	概要	(単位:億円)
外債		7,060	4,581	2,479	-	
	うち国債・政府保証債・地方債等	3,196	2,611	585	国債・政府保証債を中心	
	うち事業債	3,012	1,117	1,894	格付けは9割以上が「A」以上	
	うちジニーメイ	260	260	0	デュレーション対比高利回り商品	
	その他	590	590	0	CLO(最上位トランシェのみ)等の変動債中心	
投資信託等		7,736	3,241	4,495	債券と株式のバランスに留意しつつ運用	
	うちETF・株式インデックス(ベア含む)	2,085	1,575	509	ベアファンドを活用してリスクをコントロール	
	うちREIT	577	418	159	利回り・流動性等をみながら分散投資	
	その他	5,073	1,247	3,826	他資産との相関を考慮しポート全体のリスク対リターンを向上	

外債・投資信託等(簿価ベース)

政策保有株式

① ② ③ ④

◇ 2行合算の残高は、1,418億円(29/3月末比△47億円)。

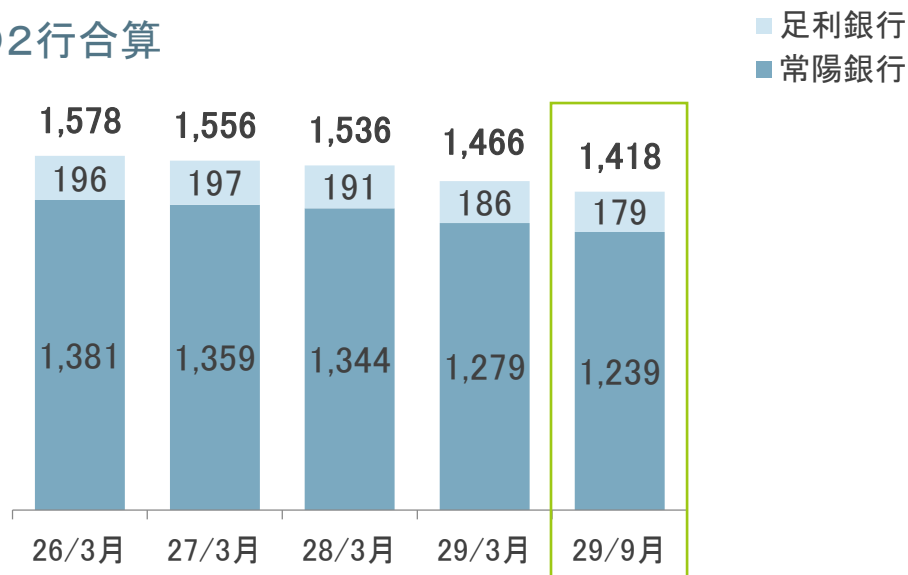
◇ うち常陽銀行の残高は、1,239億円(同△40億円)。普通株式等Tier I 比* は28.9%まで低下。

*その他の包括利益累計額等を除く

政策保有株式残高

(単位:億円)

● 2行合算



● 普通株式等Tier1比 (常陽銀行)

26/3	27/3	28/3	29/3	29/9	29/3比
34.6%	34.1%	32.6%	30.4%	28.9%	△1.5%

基本方針(コーポレート・ガバナンスに関する基本方針より抜粋)

政策保有株式の保有に関する基本方針

当社グループならびに取引先の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上、または取引先との安定的な取引関係の構築を目的として、政策保有株式を保有。

毎年、取締役会において、保有する主要な政策保有株式について、そのリスクとリターン等を踏まえた中長期的な経済合理性や将来見通し、それらを踏まえた保有の狙いや合理性に基づき、保有の可否を検証。

経費・OHR

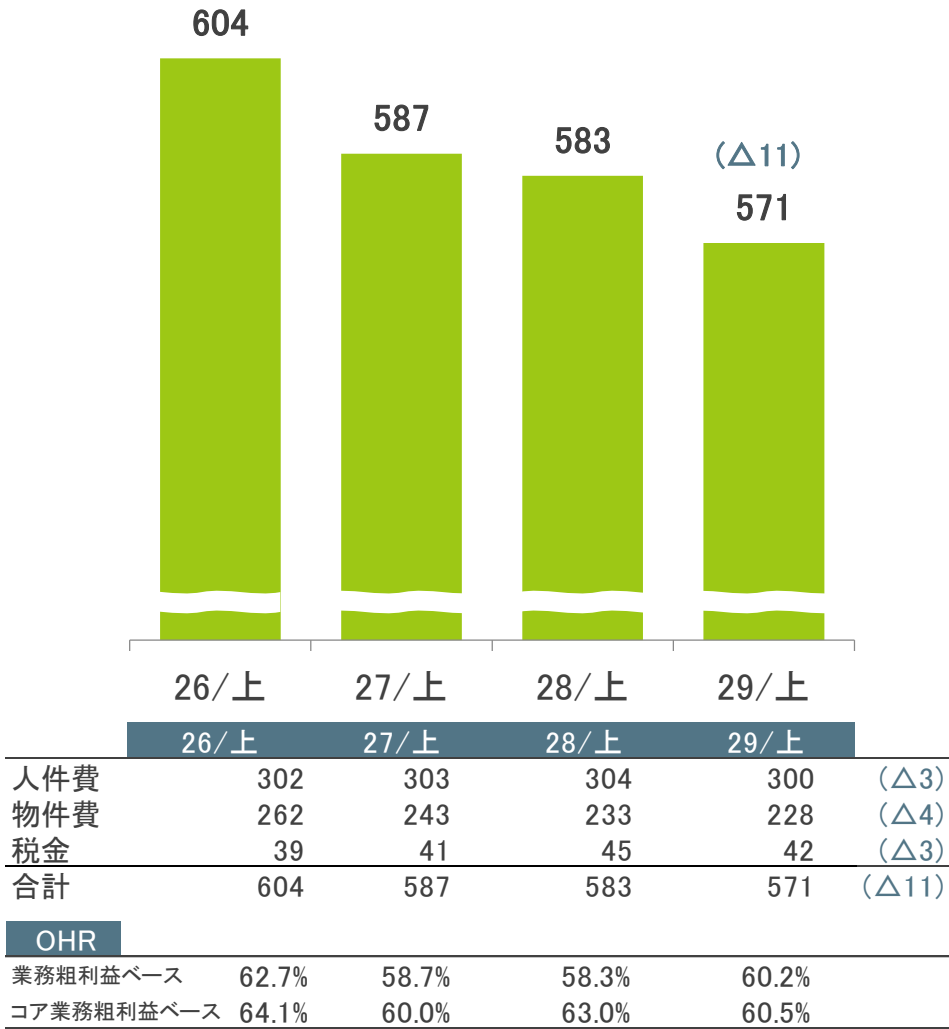
① ② ③ ④

* カッコ内は前年度比の増減

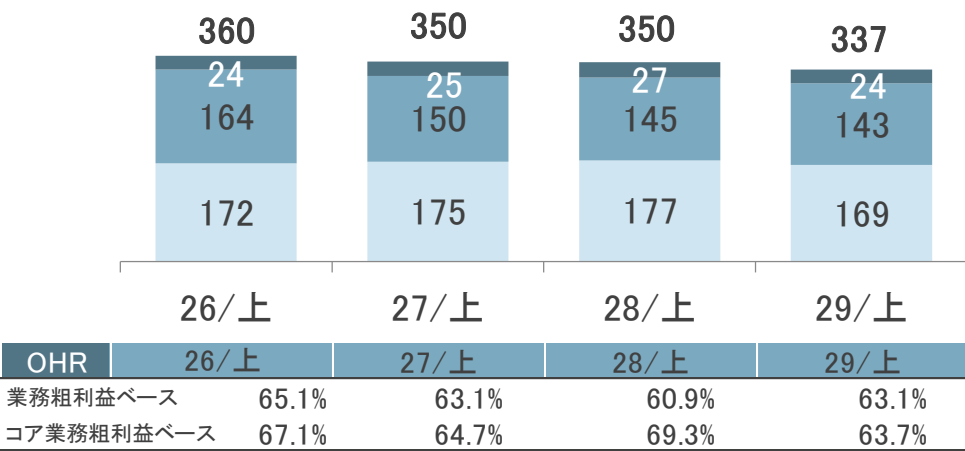
◇ 経費は、各種経費削減策の展開や、預金保険料の減少等を主因に、前年同期比△11億円（2行合算）。

● 2行合算

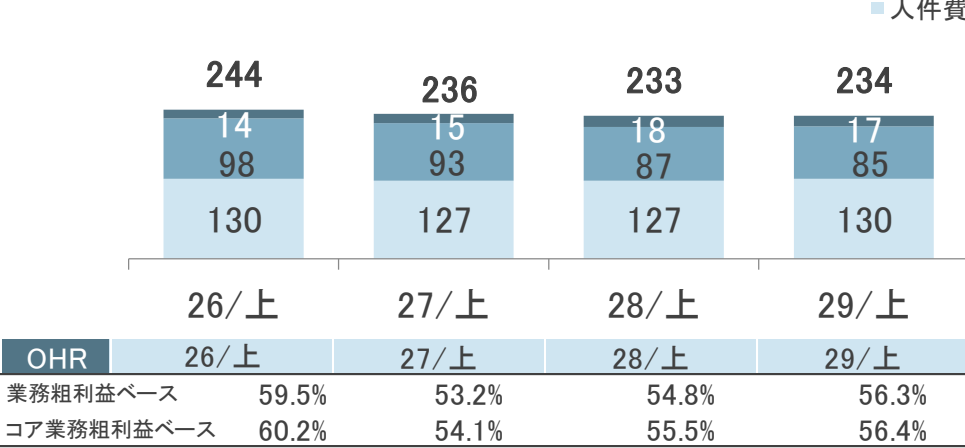
（単位：億円）



● 常陽銀行



● 足利銀行

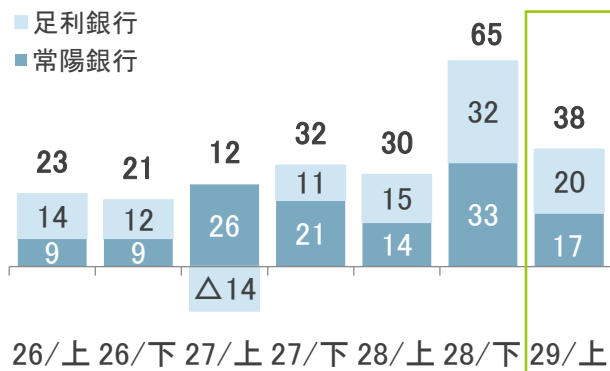


信用コスト・開示債権

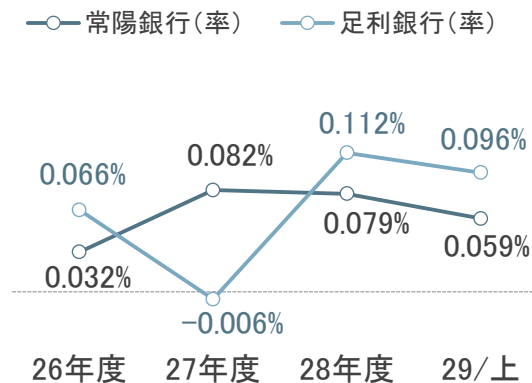
① ② ③ ④

◇ 信用コストは前年同期比＋8億円(2行合算)。引続き、企業倒産状況(茨城県・栃木県)は落ち着いた状態。

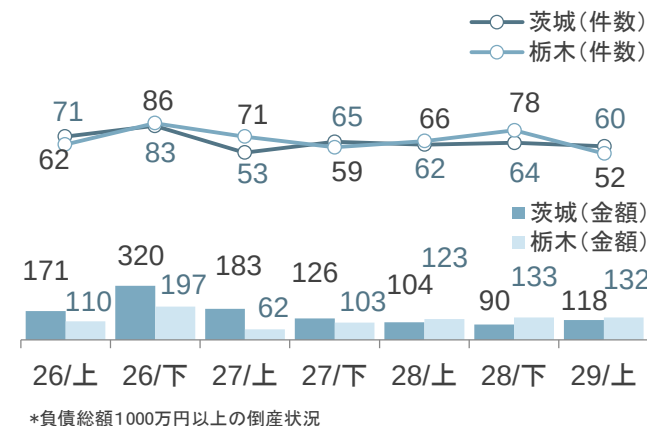
信用コスト (単位: 億円)



<参考> 信用コスト率

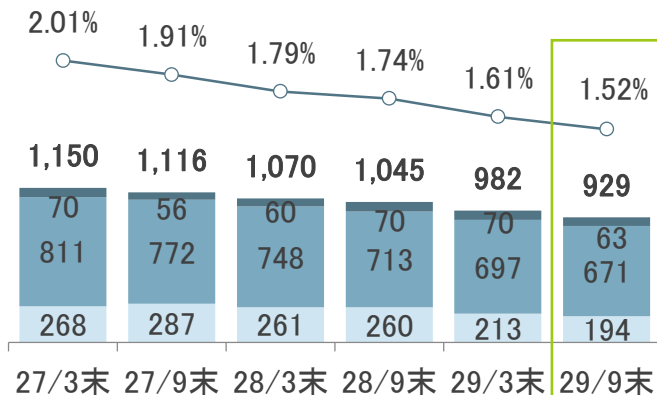


<参考> 企業倒産状況 (単位: 件数・億円)

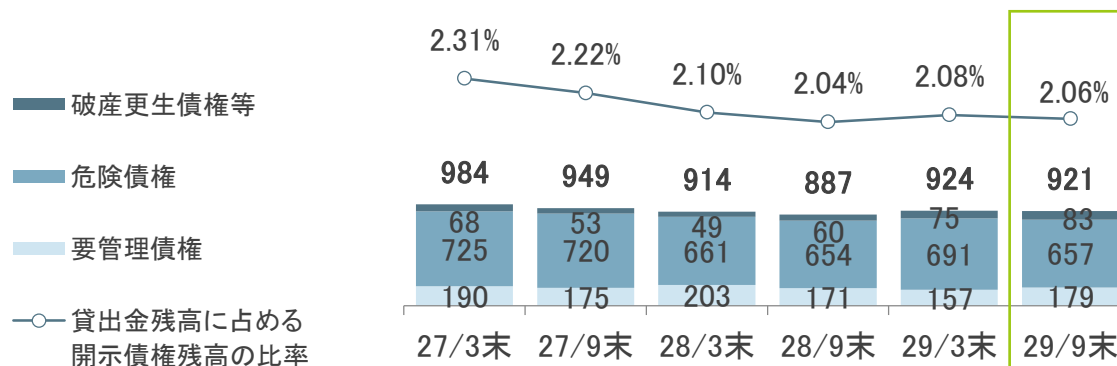


開示債権 (単位: 億円)

● 常陽銀行



● 足利銀行



グループ会社の状況

① ② ③ ④

(単位:百万円)

	会社名	主な事業内容	経常収益	前年同期比	経常利益	前年同期比	中間純利益	前年同期比	
F G	めぶきリース	リース業務、債権買取業務	12,232	+1,424	359	△150	311	+10	
常陽銀行	営業系	めぶき証券	有価証券の売買、媒介、取次、代理業務	1,439	+738	515	+401	354	+277
		常陽コンピューターサービス	ソフトウェア等の開発販売業務、計算受託業務	686	△46	37	△8	23	△6
		常陽産業研究所	コンサルティング業務、調査研究の受託業務	276	△43	18	△3	12	△0
	業務受託系	常陽信用保証	住宅ローン信用保証業務	1,952	+54	971	+453	633	+297
		常陽クレジット	クレジットカードの取扱いに関する業務	592	+8	90	△2	59	△53
		常陽ビジネスサービス	事務受託代行業務	396	+1	0	+0	△0	△1
		常陽キャッシュサービス	現金自動設備の保守・管理業務	528	△34	1	+1	0	+0
		常陽施設管理	営業用不動産の保守管理業務	485	△3	125	△2	72	△13
	常陽銀行グループ 小計		6,356	+673	1,761	+841	1,157	+499	
	足利銀行	足利信用保証	住宅ローン信用保証業務	1,923	△944	894	+215	511	+77
あしぎん総合研究所		コンサルティング業務、調査研究の受託業務	262	△2	1	△16	1	△16	
あしぎんカード		クレジットカードの取扱いに関する業務	817	△1,406	207	△1,458	135	△1,122	
足利銀行グループ 小計		3,003	△2,352	1,103	△1,260	647	△1,061		
銀行業以外のグループ会社 合計			21,592	△254	3,224	△569	2,116	△550	

めぶきリース

経常利益の前年同期比減少要因は、足利信用保証リース事業部の受入れに伴う費用増加(足利信用保証では増益要因)

*めぶきリース・めぶき証券に関する詳細はP26参照

平成29年度業績見通し(1)

① ② ③ ④

◇ 29年度業績見通しは、当初公表(29年5月12日)から変わらず。

◇ 連結経常利益585億円、連結純利益*400億円を計画。 * 親会社株主に帰属する当期純利益

● めぶき F G 連結

	29年度 中間期	進捗率	業績 予想 (通期)
経常利益	373	63.8%	585
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	249	62.3%	400

● 2行合算+銀行業以外のグループ会社 (単位:億円)

	29年度 中間期	進捗率	業績 予想 (通期)
当期(中間)純利益	306	63.7%	480

● 2行合算 (単体)

	29年度 中間期	進捗率	業績 予想 (通期)	前年度比
コア業務純益	372	59.1%	630	△39
経常利益	419	65.5%	640	△49
当期(中間) 純利益	284	64.7%	440	△68

● 常陽銀行 (単体)

	29年度 中間期	進捗率	業績 予想 (通期)	前年度比
コア業務純益	192	59.0%	325	+16
経常利益	233	69.7%	335	△21
当期(中間) 純利益	157	68.5%	230	△14

● 足利銀行 (単体)

	29年度 中間期	進捗率	業績 予想 (通期)	前年度比
コア業務純益	180	59.2%	305	△55
経常利益	185	60.9%	305	△27
当期(中間) 純利益	127	60.5%	210	△54

平成29年度業績見通し(2) 2行合算

① ② ③ ④

(単位:億円)

	28年度実績			29年度業績予想			前年度比			
	2行 合算	常陽	足利	2行 合算	常陽	足利	2行合算 増減	増減率	常陽 増減	足利 増減
業務粗利益	1,875	1,052	823	1,830	1,035	795	△45	△2.4%	△17	△28
資金利益	1,534	851	682	1,465	820	645	△69	△4.5%	△31	△37
役務取引等利益	276	143	132	315	175	140	+38	+13.9%	+31	+7
その他業務利益・特定取引等利益	63	56	7	50	40	10	△13	△21.8%	△16	+2
(うち国債等債券損益)	56	58	△2	30	30	0	△26	△46.4%	△28	+2
経費	1,150	685	464	1,170	680	490	+19	+1.7%	△5	+25
実質業務純益	725	367	358	660	355	305	△65	△9.0%	△12	△53
コア業務純益	669	308	360	630	325	305	△39	△5.8%	+16	△55
一般貸倒引当金繰入額 (a)	△4	△6	1	△5	△5	0	+0	-	+1	△1
業務純益	730	373	356	665	360	305	△65	△8.9%	△13	△51
臨時損益	△40	△17	△23	△25	△25	0	+15	-	△7	+23
うち不良債権処理額 (b)	100	54	45	65	40	25	△35	△35.1%	△14	△20
うち株式等関係損益	97	75	21	65	40	25	△32	△33.4%	△35	+3
経常利益	689	356	332	640	335	305	△49	△7.1%	△21	△27
特別損益	△21	△8	△13	△7	△5	△2	+14	-	+3	+11
当期純利益	508	244	264	440	230	210	△68	△13.5%	△14	△54
信用コスト (a) + (b)	95	47	47	60	35	25	△35	△37.1%	△12	△22

● ROE

	28年度	29年度(予想)
FG連結	-	4.6%
常陽単体	4.1%	3.8%
足利単体	8.3%	6.5%

● OHR (経費/業務粗利益)

	28年度	29年度(予想)
2行合算	61.3%	63.8%
常陽単体	65.1%	65.8%
足利単体	56.4%	61.5%

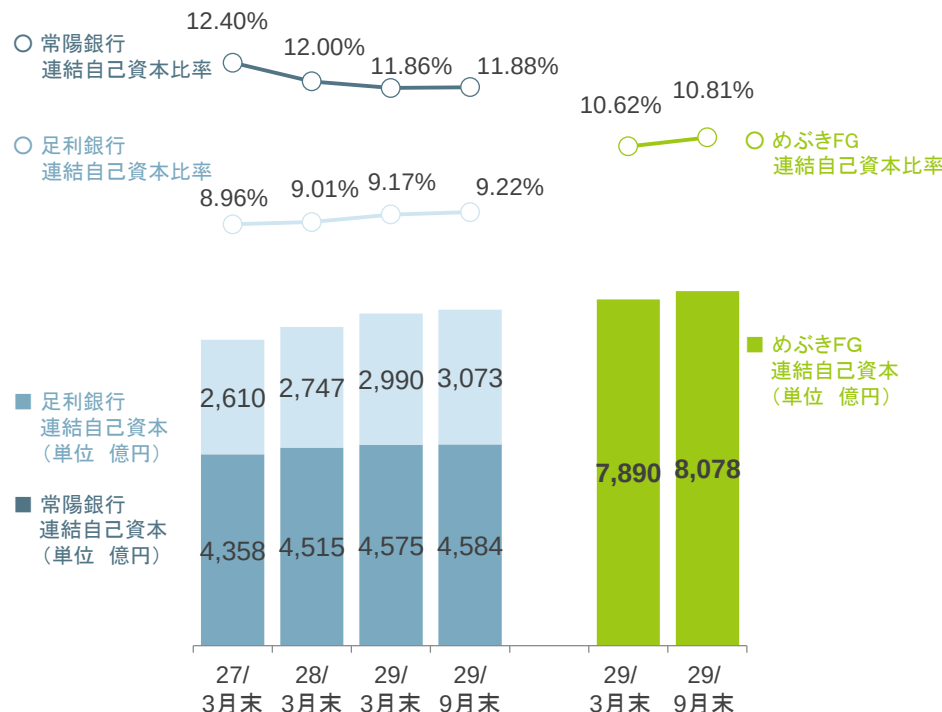
このページは「空白」です。

自己資本比率・株主還元

① ② ③ ④

自己資本比率

※信用リスクアセットの算出方法
めぶきFG | 基礎的内部格付手法
常陽銀行 | 基礎的内部格付手法
足利銀行 | 標準的手法



<ご参考> 連結自己資本比率(経過措置なしの場合)

	26/3月末	27/3月末	28/3月末	29/3月末	29/9月末
めぶきFG	-	-	-	9.49%	9.68%
常陽	11.35%	11.51%	11.17%	11.52%	11.56%
足利	8.67%	8.64%	8.77%	9.00%	9.05%

配当政策

グループとしての成長に向けた資本の確保と、株主さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、安定配当を目指す

29年度の配当は、配当政策を踏まえ年間11円を予定(配当性向 32.3%)

【1株あたり配当の額】

29年度		
年間配当(予定)	中間配当	期末配当(予定)
11.0円	5.5円	5.5円

株主優待制度

【対象】 毎年3月末日時点で1,000株以上をお持ちの株主さま

【内容】 地元特産品等を記載の専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの特産品をお選びいただけます

【株主優待制度の概要】

保有株式数	特産品の金額目安	アイテム数
1,000株以上 5,000株未満	2,500 円相当	茨城県・栃木県の特産品を中心に
5,000株以上 10,000株未満	4,000 円相当	488アイテム
10,000株以上	6,000 円相当	(各コースの合計)

※ 28年度常陽銀行株主優待実績 316アイテム

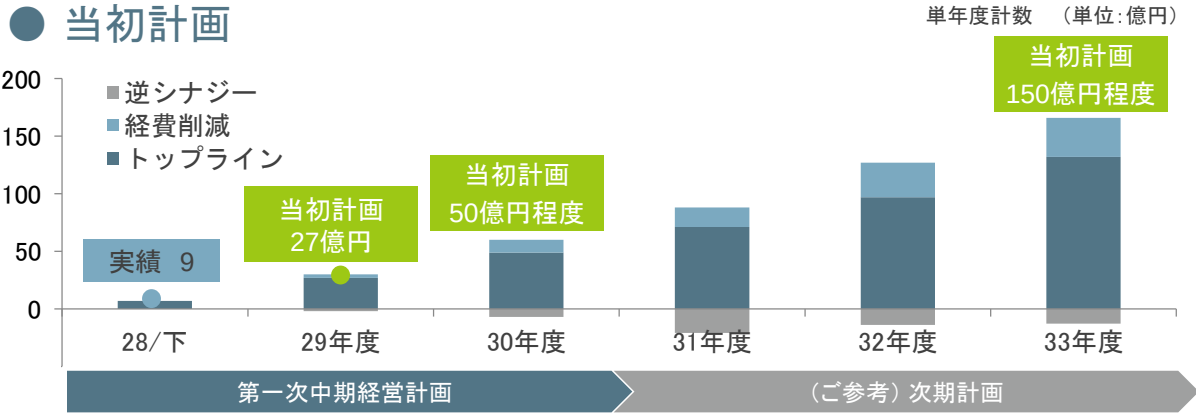
統合シナジーの進捗(P/L上の効果)

- ◇ 経営統合シナジーは、29年度計画27億円に対し、上期は21億円(進捗率78%)と計画を上回って推移。
- ◇ 30年度以降の計画達成に向け、順調に進捗。

PL上の効果(税引前)		
		金額
29通期	計画	+27億円
29/上	実績	+21億円(進捗率78%)

29年度(上期実績・通期計画) (単位:億円)

項目	通期計画	上期実績	進捗	具体的な施策
貸出金・法人役務	10.3	7.7	74.4%	・広域ネットワークを活用した情報営業強化⇒協調融資、シンジケートローン、取引先紹介、成長分野(医療・福祉等) ・めぶきリース機能の相互活用 ・非対面営業ノウハウ共有(無担保ローン) ・ネット申込専用住宅ローン共同開発、女性向け住宅ローン共同展開
預り資産	8.5	4.0	47.4%	・預り資産推進ノウハウの共有 ・めぶき証券機能の相互活用
有価証券	7.0	2.9	41.6%	・各行の投資経験を活かした新領域への投資、新調達手法の取組み ・共同投資の取組み ・モニタリングやパフォーマンス評価の分析手法共有による運用・管理手法の高度化
その他(チャネル・市場国際等)	2.5	5.5	215.0%	・重点地域の人員増強 ・クロスボーダーローンの取組強化 ・足利銀行における特約付外貨預金の販売ノウハウ活用 ・外貨預金キャンペーンの実施
経費削減	3.0	3.9	132.0%	・経費削減ノウハウ、費用対効果手法の共有 ・情報共有による価格交渉力の向上 ・店舗運営効率化のノウハウ共有 ・東京事務センターの統合 ・手形・小切手、キャッシュカードの共同発行
コスト増加・逆シナジー	△3.7	△2.2	-	・2行間における振込手数料の本支店化扱い ・減価償却費、ランニングコストの増加
シナジー合計	27.7	21.8	78.9%	



グループ会社(めぶきリース・めぶき証券)

① ② ③ ④

めぶきリース

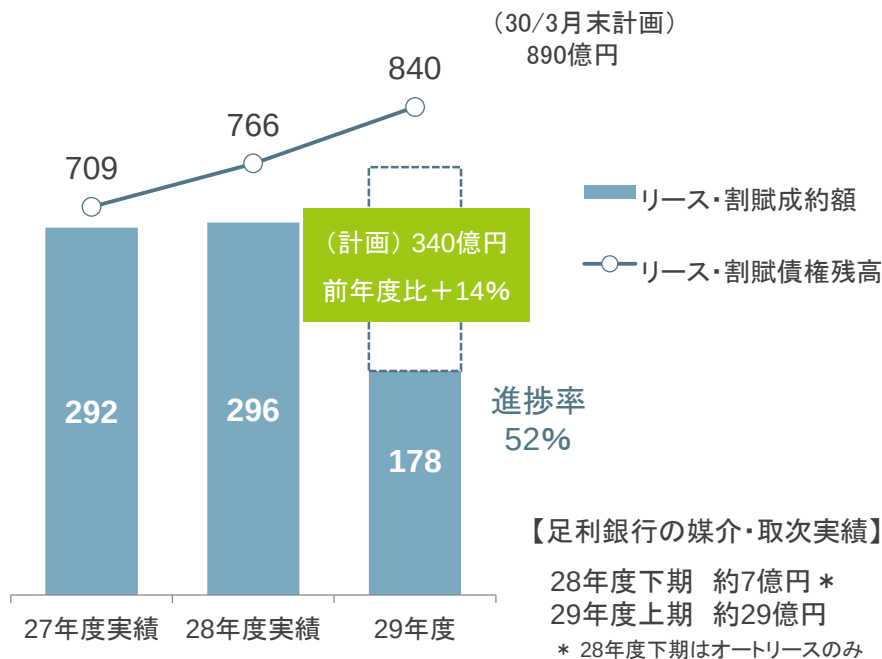
29年4月 常陽リースから「めぶきリース」に商号変更。
FGの100%出資子会社化。

グループ内のリース事業の再編(一本化)

栃木県内の営業体制強化(宇都宮・足利・小山の3営業部体制に)

● リース・割賦成約額、債権残高

(単位:億円)



めぶき証券

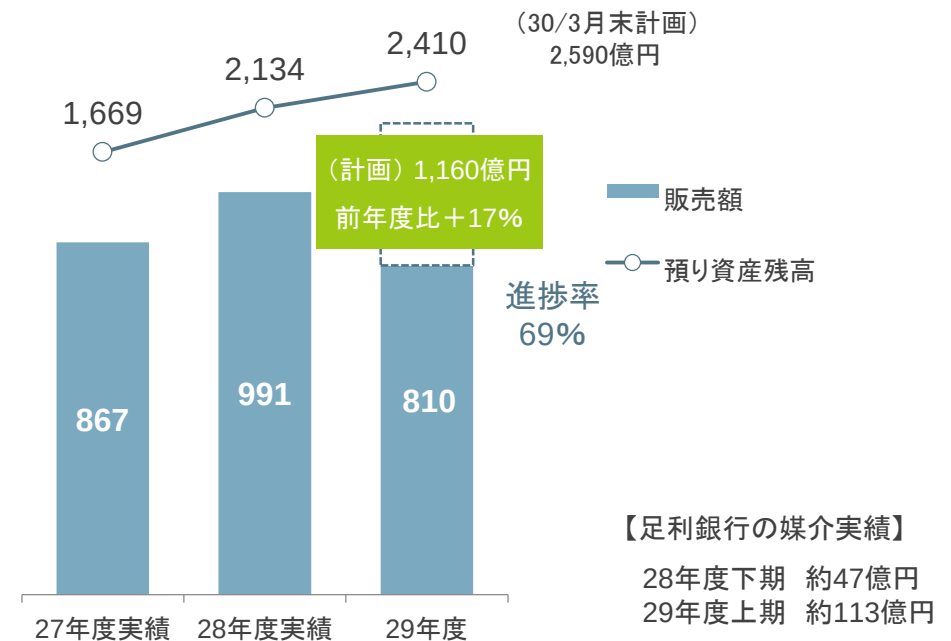
29年4月 常陽証券から「めぶき証券」に商号変更

足利銀行との金融商品仲介業務取扱店舗を、従来の13店舗から
128店舗に拡大

29年10月 FGの100%出資子会社化。宇都宮支店を開設

● 販売額、預り資産残高

(単位:億円)

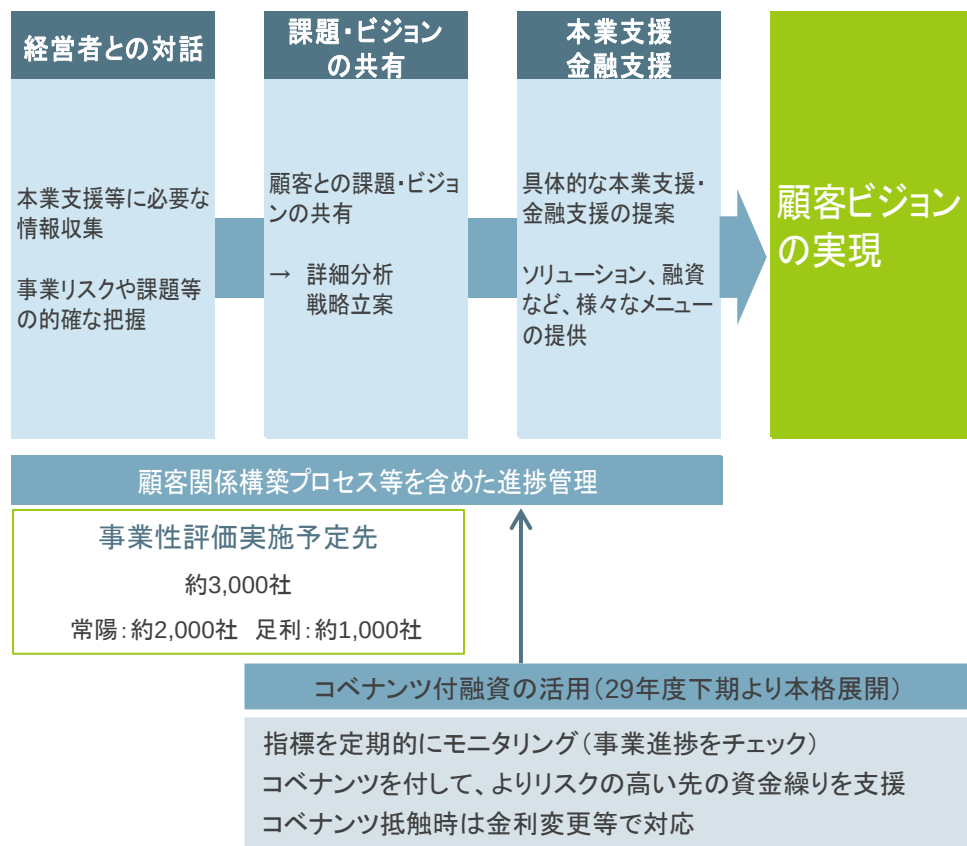


営業施策(法人)

① ② ③ ④

事業性評価の取組み

担保・保証に過度に依存せず、事業の内容や成長可能性を適切に評価し、本業支援・金融支援を行う取組みを強化。



- 常陽銀行において、29年度下期より足利銀行と同じ枠組みをスタート。30年度より、法人営業体制を見直し、セグメントに応じたビジネスモデルを構築。

● 広域ビジネスマッチング (統合後～H29. 9月)

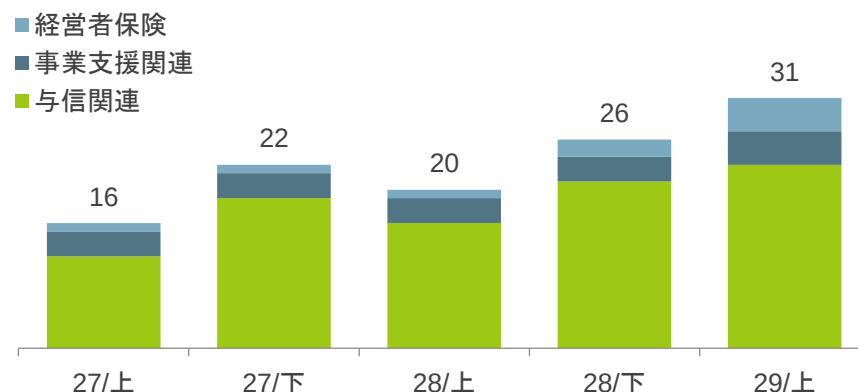
	2行合算
情報発信	5,874件
マッチング(顧客面談)	288件
成約	37件

● 連携・協調営業 (統合後～H29. 9月)

	先数	2行合算
協調融資	38	51億円
シ・ローン	41	68億円
紹介	92	57億円
合計	171	178億円

(ご参考) ソリューション等提供に伴う主な役務収益

(単位: 億円)



* 管理ベースの実績。具体的な内容についてはP14参照。

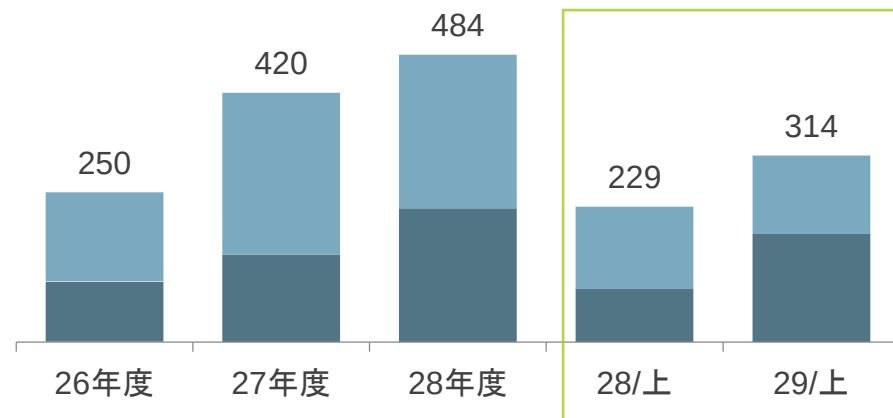
営業施策(法人)

① ② ③ ④

私募債発行

(単位: 億円)

■ 足利銀行
■ 常陽銀行



寄贈サービス付私募債 (29年9月末累積実績: 203億円/229件)

お客様とともに、学校環境の整備をつうじて、地域社会へ貢献

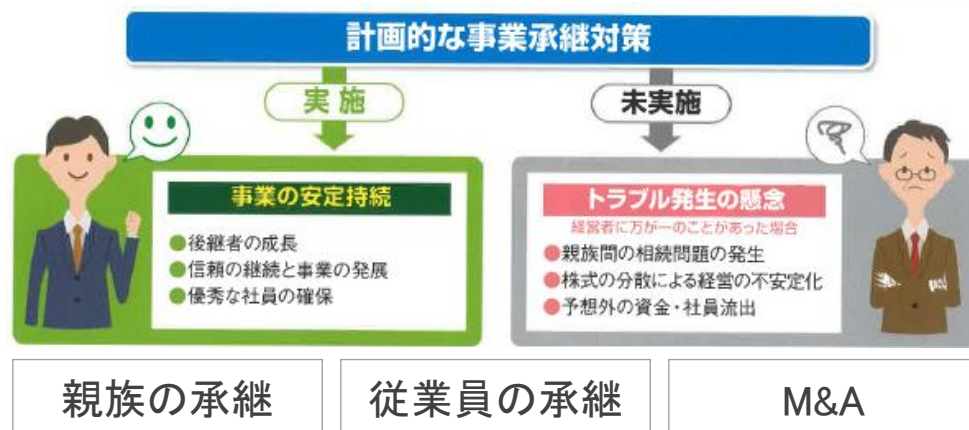


- 28年7月の取扱い開始より、2行合算で、総額3千万円を超える寄贈を実施

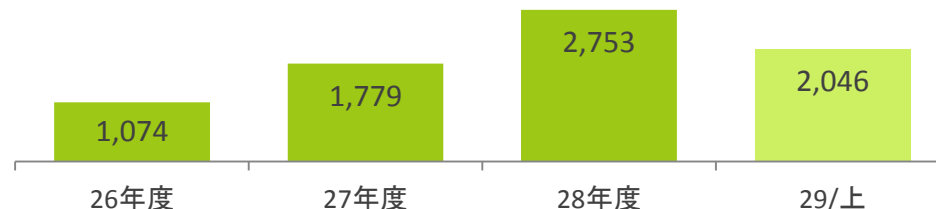
事業承継・M&A

後継者の有無などに応じて、事業承継の方向性を共に考えソリューションを提供

取引先の円滑な事業・資産承継、雇用維持をサポートすることにより、地域経済の持続的発展に貢献



(事業承継・M&Aの提案先数: 2行合算)



- 茨城県・栃木県内でM&A等を選択する見込みのある企業数: 約2万社

* 中小企業庁統計表一覧・帝国データバンク公表資料等により当社推定

このページは「空白」です。

営業施策(個人)

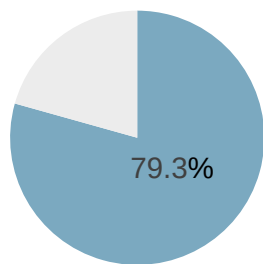
① ② ③ ④

個人向けローン

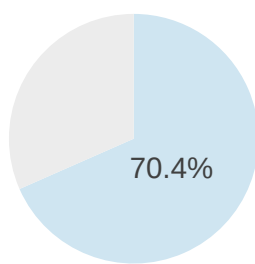
ウェブ申込の利便性向上、職域サイトのコンテンツ充実を図る。
常陽銀行ではダイレクト営業部を設立し対応を強化。

●ウェブ経由の取引実績（2行合算）

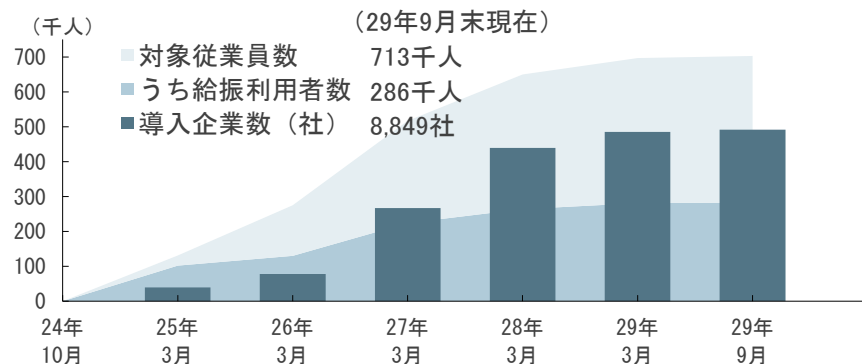
※申込件数ベース、29年9月末現在
(マイカーローン)



(教育ローン)



●職域サイト



◆ 足利銀行 29年10月導入

預り資産

取引先数は増加し、裾野は拡大。積立額は増加トレンドを継続。
FDの観点で顧客資産形成をサポート。ストック・ビジネスを強化。

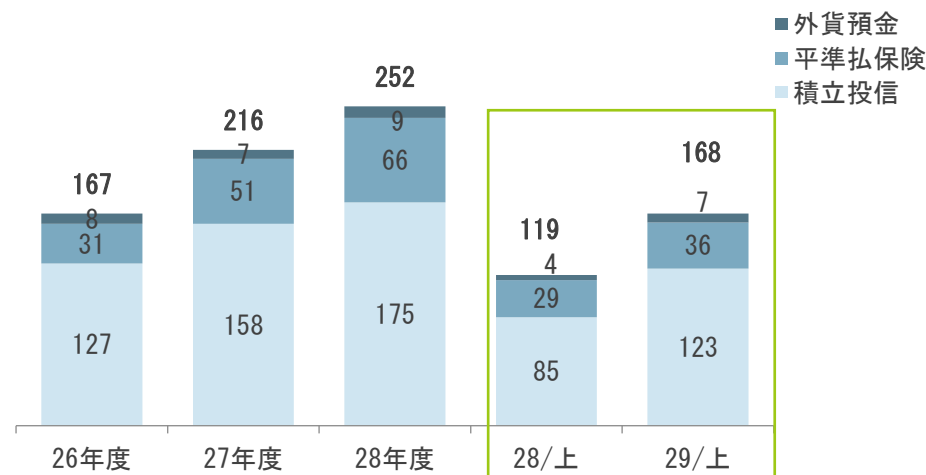
●取引先数

(単位：千先)

	(単位：千人)				
	27/3末	28/3末	29/3末	29/9末	29/3比
常陽銀行	191	190	197	198	+0
足利銀行	148	149	156	159	+2
単純合算	340	340	353	357	+3

●積立商品の積立額（2行合算）

(単位：億円)



システム統合・経費削減

① ② ③ ④

システム統合

【基本方針】

足利銀行が、めぶきFGが加盟する「Chance共同化」へ参加

平成32年1月の基幹システム統合を目指す

《平成29年4月 システム統合プロジェクトをスタート》

●システム統合プロジェクト

基幹システム、分散システム、ネットワーク等を集約・統合

→ 開発コスト・保守等の運用コストを削減

→ 捻出した費用を、新分野・新システムへの投資にシフト

ITの効果的活用により、顧客サービス向上を低コストで実現

●システム統合のスケジュール

平成32年1月に基幹システム統合

平成33年度は4億円*のシステムコストシナジーを見込む

平成36年に初期費用の償却終了となり、シナジー拡大

* 33年度：システム経費削減シナジー 18億円 - 初期費用償却等 14億円

【分散システム】 約280の分散システムのうち、170強を統合

経費削減

【経営統合シナジー】

経費削減ノウハウ、費用対効果評価の共有

店舗運営効率化のノウハウ共有

東京事務センターの統合、集中処理の拡大(手形交換・輸送等)

手形・小切手用紙等、発行事務の共同化(G企業への全面委託)

●物件費削減プロジェクト (PT)

経営統合シナジーの実効性を高めるべく、29年2月より両行の関係部が参加する「物件費削減プロジェクト」を立ち上げ

両行の支出内容の比較を行い、両行で年間3億円程度の恒常経費の削減を図る



物件費削減PTによる恒常経費削減を経営統合シナジーに上積み

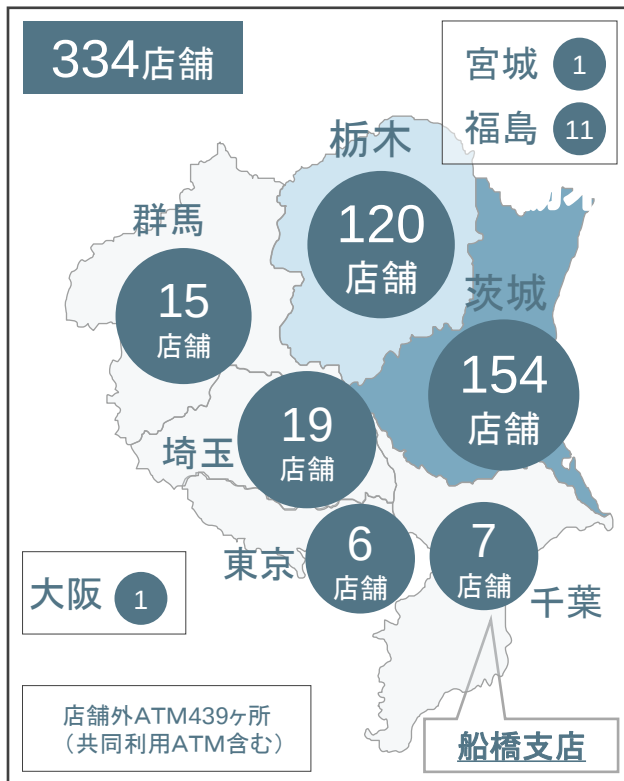
店舗ネットワーク・店舗効率化

(29年10月末現在)

① ② ③ ④

◇ 33年度までにグループ全体で15カ店の新規出店を計画。

● 銀行の支店数(2行計)

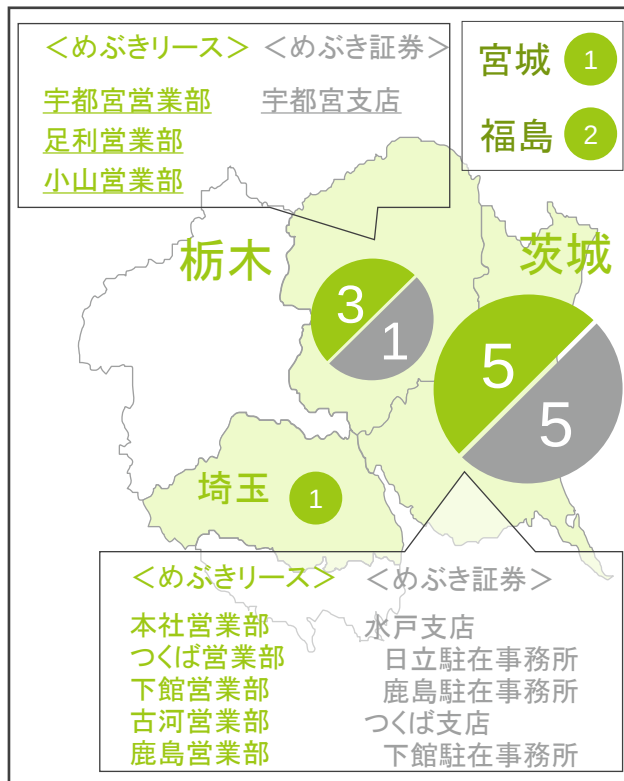


海外駐在員事務所

常陽銀行：上海、シンガポール、ニューヨーク
ハノイ(開設予定)

足利銀行：香港、バンコク(開設予定)

● めぶきリース/めぶき証券



めぶきリース
12拠点

めぶき証券
6拠点

* 下線が経営統合(28年10月)後の新規出店

● 店舗効率化 (経営統合(28年10月)以降)

経営統合に伴う店舗統廃合(重複エリア見直し)

常陽：1支店、1出張所を統合(店舗内店舗化)

足利：古河地区の再編 1支店、2出張所、
1ローンセンターを古河支店に集約

2行共同でのATM対応

互いの店舗内へのATM設置

ATMの相互利用(手数料、ポイント優遇等の自行同一化)

経営統合以外の店舗統廃合

常陽：2支店、1出張所を統合(店舗内店舗化)

足利：1支店、1出張所、1ローンセンターを同一店舗に移転

その他の施策

店舗軽量化、個人特化店化

効率化出張所の設置

昼休業の導入

TV電話・タブレットの活用

インターネット支店の活用
など



(TV電話)

FinTech活用

ビッグデータ 活用

その他

商品・サービスの提供

スマートフォン向けアプリ

人工知能(AI)の活用
(融資審査・FAQ)

マイカーローン申込インターネット完結

通帳レスサービス(通帳アプリ)

データ分析
(マーケティング・商品提案等)

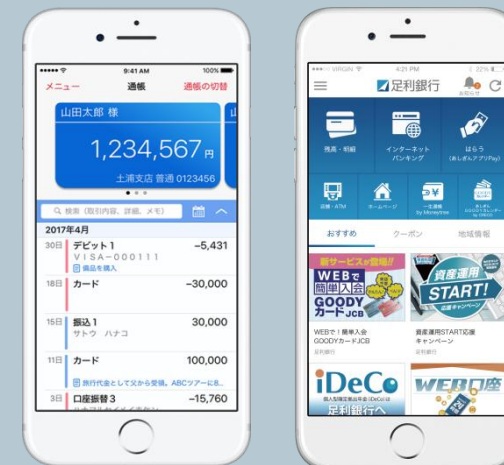
口座直結型スマートフォン決済

家計管理サービス
(マネーツリー「一生通帳」)

資産運用提案
(ロボアドバイザー)



*スマートフォン決済 (キャッシュレス)



常陽銀行 通帳アプリ 足利銀行 あしぎんアプリ

チャネル

口座開設アプリ
(インターネット支店機能拡張)

店頭受付ナビゲーション
(諸届・口座開設)

BPR

クラウド会計事業者との連携

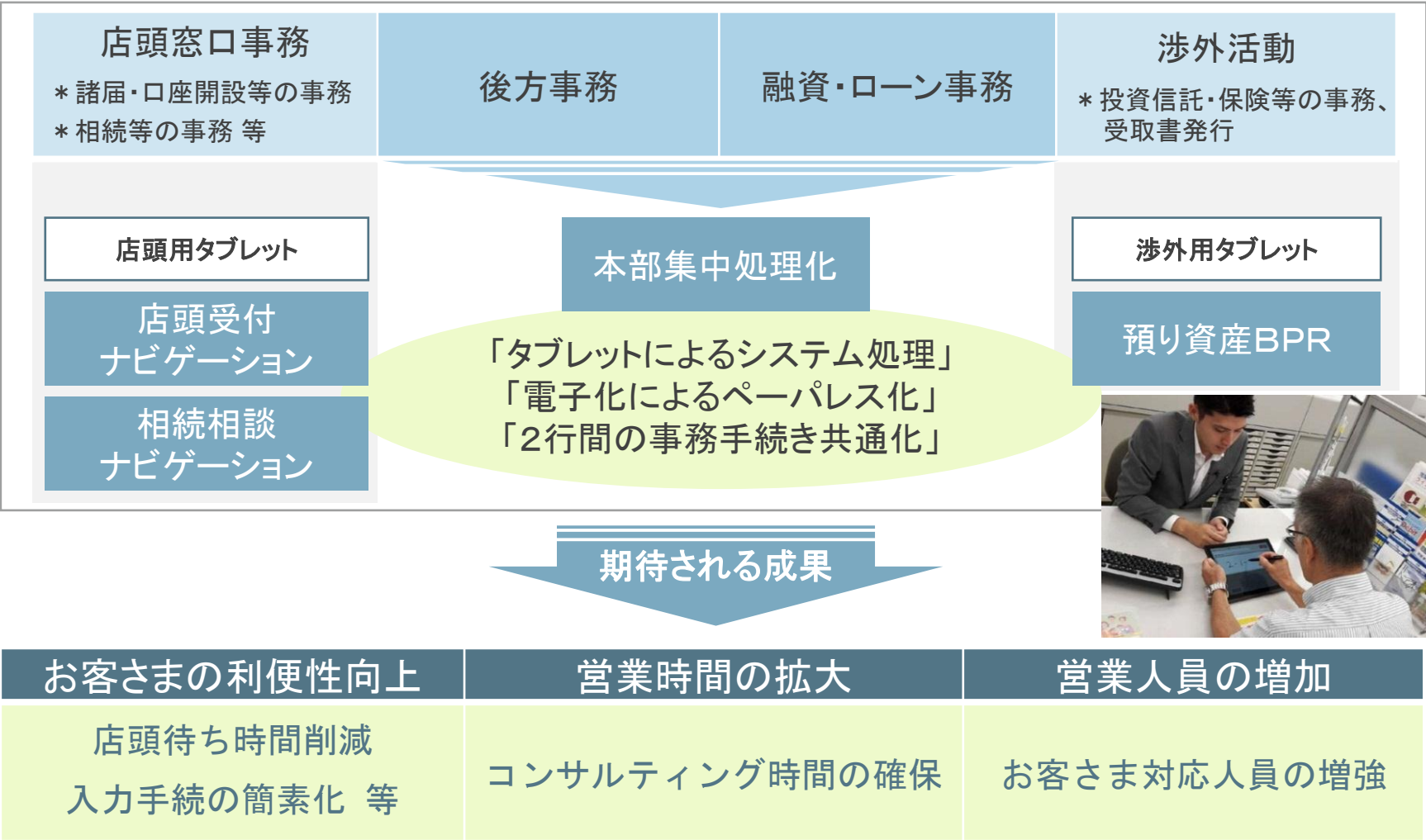
渉外活動BPR

本部事務効率化

本部集中・ペーパーレス

事務の効率化

◇ オペレーション革新により捻出した経営資源を、お客さま満足向上に資する分野に投下。



【地方創生】めぶきビジネスアワード

① ② ③ ④

- ◇ 常陽銀行・足利銀行の広域な営業エリアに潜在する革新的・創造的な事業プランを募集・表彰。
- ◇ 事業プランの作成、事業立ち上げに至る一貫した支援を展開。
- ◇ 大学発ベンチャー創出支援のために「GAP基金」の枠組み導入(29年11月)。

第1回めぶきビジネスアワード 結果

最優秀賞

株式会社MCBI (茨城県つくば市)
認知症の早期発見と予防につながる事業プラン

優秀賞

sid株式会社 (埼玉県川口市)
「まるでやわらかいガラス」を実現する樹脂材料

株式会社染めQテクノロジー (埼玉県幸手市)
「驚異的強度」「超コストカット」を実現した厨房床補強剤事業

株式会社フクル (群馬県桐生市)
女性活躍のためのレディースーツオーダーメイドスマートアパレルファクトリー



第2回めぶきビジネスアワード (募集期間 H29.11.20~H30.1.31)

募集対象

ものづくり、アグリ・6次産業化、
環境・エネルギー、医療・介護、
先端技術、海外進出、
地方創生・地域資源の活用・女性活躍、
創業分野、大学発イノベーション など

主催等

主催：めぶきフィナンシャルグループ
常陽銀行、足利銀行

共催：常陽産業研究所
あしぎん総合研究所

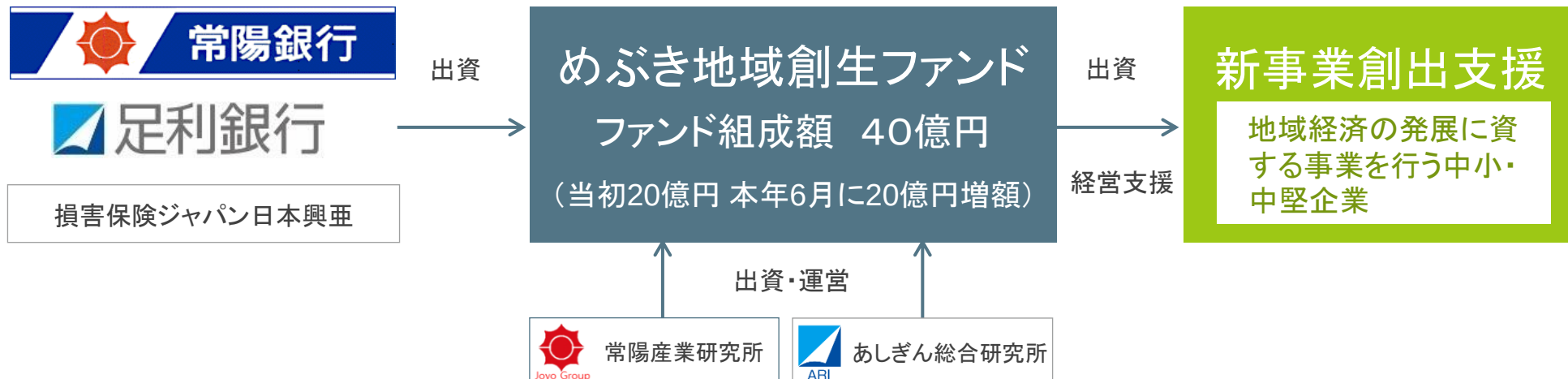


応募件数 646件
常陽銀行344件
足利銀行302件

受賞プランの事業化に向けた支援

【地方創生】めぶき地域創生ファンド

① ② ③ ④



実績

10月末日現在: 合計6件
投資額14億円

具体的な案件

- ① 有限会社ワールドファーム(つくば市)
投資日: 29年1月 投資額: 100百万円
- ② 株式会社HATAKEカンパニー(つくば市)
投資日: 29年3月 投資額: 200百万円
- ③ 株式会社エスエスフードインターナショナル(市川市)
投資日: 29年4月 投資額: 200百万円
- ④ 株式会社早川ホールディングス(足利市)
投資日: 29年4月 投資額: 700百万円
- ⑤ 株式会社ひびき(川越市)
投資日: 29年6月 投資額: 100百万円
- ⑥ 株式会社アトック(常総市)
投資日: 29年9月 投資額: 100百万円



【地方創生】農業分野支援

① ② ③ ④

◇ 地域産品の開発から販売に至るプロセスを4つの分野に分け、それぞれの分野に応じた施策を展開することにより、シームレスな支援を実施。

①商品企画・商品開発

②テストマーケティング (商品のブラッシュアップ)

③販路開拓

④販路拡大

おいしさ向上品評会

日 時	28年10月12日(水)
場 所	水戸プラザホテル(水戸市)
出展企業	100社
評価者	505名

食品事業者が自社商品を展示し、外国人留学生や日本人学生、ビジネスマン、主婦等の評価者が試食・インタビュー形式で商品評価を実施

評価項目は、味、価格、パッケージなど

食品事業者の今後の商品開発・テストマーケティングにつながる場を提供



品評会



評価の様子

食品加工技術商談会 デコ・ボコ マッチング

日 時	29年9月5日(火)
場 所	マロニエプラザ(宇都宮市)
出展企業	41社
来場者	約350名

自慢の食素材を使った新食品開発を考えている事業者や、商品の製造委託先を探している農業生産者など(凸デコ)と、自慢の加工技術を有する事業者(凹ボコ)とのマッチングを図る

出展した加工技術は、ジャム、ペースト、ドレッシング、燻製、乳酸発酵、プリン、ゼリー、羊羹、ソーセージなど



デコ・ボコ
マッチング



会場の様子

食の商談会 (めぶきFG第1回)

日 時	30年1月25日(木)
場 所	つくば国際会議場(つくば市)
出展企業	農業生産者、食品加工・卸売業者、小売業、外食・観光産業など地域の食関連事業者、市町村、物流事業者等
予約商談数	500件超(予定)

2行共同での初めての開催となる「食の商談会」

食関連事業者の販路拡大および食材調達支援、参加者間の相互交流

地方銀行では最大級となる商談会

新たに「食品を運ぶ」を個別テーマに設定し、物流事業者と食品事業者との出会いの場も提供



おいしさつながるフードフェスタ
In 宇都宮 (28年11月開催)

ESGの取り組み

① ② ③ ④

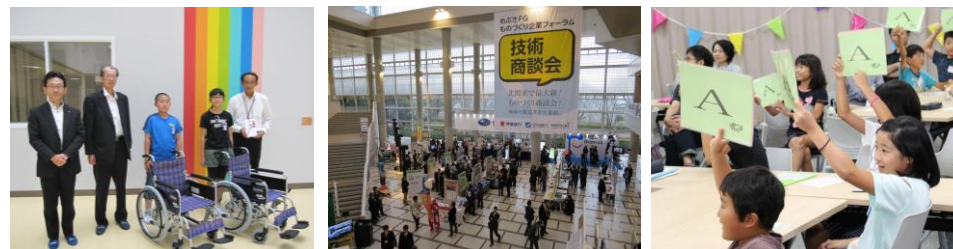
◇ 中長期的な企業価値の向上を目指し、ESGについて積極的な取り組みを実施。

Social【社会】

- 寄贈サービス付私募債の取扱い
- 地元スポーツチームへのスポンサー支援
(鹿島アントラーズ、栃木SC、他)
- 各種商談会の共同開催
- 企業誘致、移住・定住促進支援
- アジア諸国における交流会・商談会の開催、拠点開設
- ワークライフバランスの推進と生産性向上【働き方改革】
- 女性役付者の登用、子育て支援
- 金融教育の普及(体験学習、エコミクス甲子園、各種セミナー)

Environment【環境】

- 森林保全活動(「足尾の山」「常陽ふるさとの森」植樹活動)
- 環境・新エネルギー支援
(環境格付融資、太陽光発電事業向け融資等)
- 新築店舗の外壁や内装に地元産材を使用
- 環境保全団体への支援(エコーいばらき、日光杉並木保護等)



Governance【ガバナンス】

- 監査等委員会設置会社、社外取締役の配置による
監査・監督機能の確保
- コーポレート・ガバナンス委員会の設置
(取締役会の諮問機関、社外取締役を中心に構成)
- コーポレート・ガバナンスに関する基本方針の公表

ESGの取り組み 地域とともに

① ② ③ ④

◇「持続可能な社会の実現」、そして地域の未来のためにさまざまな活動を実施。

金融教室

これからの時代を担う子どもたちにお金の大切さや銀行の役割などについて学んでいただく「金融教育」に取り組んでいます。貨幣の歴史やお金の上手な使い方などの紹介のほか、人型コミュニケーションロボット「PALRO（パルロ）」を使った講義など、楽しみながら学べる金融教室を実施しています。



金融教育って？
子どもたちの
“生きる力”を
伸ばす教育です。

金融教育とは、子どもたちがお金や金融について理解し、それらを通じて生活や社会について深く考え、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて進んでいけることを目的とした教育です。

人型コミュニケーションロボット
「PALRO（パルロ）」

もっと
お金について

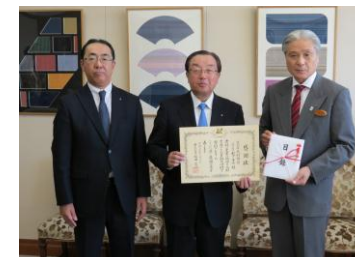
防犯ブザー寄贈

防犯ブザー寄贈

地域貢献活動の一環として、平成17年より毎年、茨城県内および福島県いわき市内の小学校1年生に防犯ブザーを寄贈しています。児童一人ひとりの安全と安心して生活できる地域社会の実現を願って、平成29年3月には、約2万8千個を贈呈しました。

とちぎ未来人材応援基金

栃木県内に就職する大学生・大学院生等の奨学金返還に係る助成制度「とちぎ未来人材応援基金」への資金協力を通じて、栃木県産業界を担う人材確保と地域企業の成長や地域経済の活性化に貢献いたします。



本件に関するお問合せ先

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ 経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <http://www.mebuki-fg.co.jp/>

【ご注意】

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより実際の数値と異なる可能性があります。